

日本古生物学会における恐竜関係の発表一覧 (グラフ1のバックデータ)

- ・1987年～2024年における恐竜関係の発表数は300件
- ・2000年以降その数は、顕著に増加している。

開催年	開催地	恐竜関係の発表数	タイトル	いわゆる「伝統的手法」以外のデジタル、生理学、解剖学などを応用した研究 (別紙資料1-5を参照)
2024年	高知	9	系統比較法を用いた絶滅した恐竜類の体重推定法の確立	○
			イグアノドン類 (鳥脚類) 上顎における歯への栄養供給経路の解析	○
			板橋区立教育科学館に展示されているTriceratops標本について	○
			イグアノドン類の歯骨歯に見られる乳頭状突起の形態的特徴	○
			タジキスタン北部ラバット地域より産出した ジュラ紀中期の恐竜類足跡化石の分類学的再検討	○
			モンゴル国ゴビ砂漠中部Yagaan Khovil 地域の 上部白亜系から産出した恐竜足跡化石群	○
			白亜紀中頃の恐竜類・コエルロサウルス類における後肢形態の平行進化と走行適応	○
			手取層群北谷層から産出した、Paravesの前肢骨化石	○
			獣脚類の遊離歯に保存された“咬み跡”の記載とその古生物学的解釈	○
2024年	仙台	8	獣脚類と修飾頸部の声の響き方の推定	○
			上部白亜系ジュディスバー層 (モンタナ州) から産出した“ミイラ化”したBrachylophosaurus canadensis の予察的研究	○
			熊本県の姫浦層群下津深層から産出した日本初のティラノサウルス科の下顎骨化石	○
			岩手県田野畑村に分布する下部白亜系宮古層群から産出した獣脚類恐竜の趾骨	○
			Fukuissaurus tetoriensis (鳥脚類恐竜) の追加標本について	○
			福井県勝山市の北谷層から産出した幼体の竜脚類神経弓 (予察)	○
			下部白亜系手取層群北谷層から産出した新たな鳥脚類足印	○
			獣脚類の骨格復元 とくに座位姿勢について	○
2023年	福岡	9	大型化石内部の非破壊観察を目的としたシンクロトロン放射光活用の進展: Spring-8における測定事例	○
			熊本県に分布する御船層群から初めて産出した恐竜類の卵殻化石	○
			兵庫県丹波篠山市の下部白亜系篠山層群大山下層から発見された角竜類の系統解析	○
			モンゴル国の上部白亜系バヤンシレ層から産出したmultitaxic bonebedとハドロサウルス上科化石の報告	○
			北海道後期白亜紀海成層産ハドロサウルス科にみられる生物侵食	○
			Liaceratops における上顎内血管神経管の分布領域の違いによる形態学的変異について	○
			愛媛県における恐竜化石発見の可能性	○
			フライドチキン骨格に恐竜を見る～身近な食材による博物館教育	○
			兵庫県丹波篠山市に分布する篠山層群大山下層産獣脚類恐竜の新たに確認された部位と系統学的位置の検討	○
2022年	金沢	7	徳島県勝浦町に分布する下部白亜系立川層の恐竜化石発掘調査	○
			下部白亜系立川層 (徳島県勝浦町) から発見されたイグアノドン類の尾椎	○
			夕張市産ロイ竜類化石の内部構造の復元	○
			久慈郡群玉川層 (後期白亜紀) 産獣脚類化石の三次元マイクロCT解析	○
			モンゴル・バルンゴット層 (上部白亜系) から産出した新しいアルパレツサウルス科化石から探る走行性と敏捷性の適応と多様化	○
			北海道中川町オソウシノイ層から発見されたマニラプトル類化石の再研究とテリジノサウルス類の末節骨の進化と機能への示唆	○
			竜脚類の体形と歩容の運動学的考察	○
2022年	名古屋	13	長崎半島に分布する上部白亜系三ツ瀬層の年代論	○
			“赤崎層群”呼子ノ瀬層は白亜系マーストリヒト階最上部	○
			カマラサウルスの上顎および下顎の血管神経管の解析	○
			現生鳥類の呼吸鼻甲介着部の骨学的特徴に基づく非鳥類恐竜類における鼻甲介の存在可能性の予察的検討	○
			福島県いわき市の上部白亜系・双葉層群玉川層から産出した小型の鳥脚類恐竜	○
			姫浦層群下津深層 (熊本県天草市) から産出したマーストリヒチアンのハドロサウルス上科の歯化石	○
			ウズベキスタン共和国の上部白亜系ビセクティ層から産出したカルカロドントサウルス類恐竜	○
			上部白亜系三ツ瀬層 (長崎県長崎市) から産出した ハドロサウルス上科の肩甲骨について	○
			Fukuivenator paradoxusの系統的再検討	○
			福井県勝山市の下部白亜系北谷層から産出した竜脚類の行跡	○
			組織形態・特殊染色による恐竜類骨髄質の識別法	○
			ピナコサウルスから考察する竜脚類における歯の交換様式	○
			化石に保存された前肢骨関節角度の比較解析から探る獣脚類系統における前翼膜の進化	○
2021年	岡山	13	白亜紀最末期の北阿万層から産出した新たな基礎的ハドロサウルス科の恐竜がもたらすハドロサウルス科の起源に関する新知見	○
			中国下部白亜系義陸隆家屯部層のプンツァコサウルス科とその系統関係	○
			福井県勝山市の下部白亜系北谷層から産出した大型獣脚類の行跡	○
			岐阜県高山市荘川町から産出したカメ類・恐竜類の卵殻化石	○
			Fukuititan nipponensisの四肢骨復元	○
			Edmontosaurus annectens の頭骨の記載および構造の考察	○
			角竜類Psittacosaurusの脳・内耳形態の解析	○
			獣脚類恐竜Tarbosaurusの歯に見られるマイクロCTと微細内部構造の検討	○
			The avian foot's joint motion of vertical and planter correlated with its function by locomotor pattern—Application to extinct avian and dinosaur—	○
			ティラノサウルスの歯骨に見られる複雑な血管神経系	○
			リンモリプレン酸法を用いて明らかにした主竜脚類の肩・肘関節における軟骨・靭帯の三次元分布	○
			主竜類の胃の進化: 胃の形状変遷	○
			モンゴル国産脊椎動物化石からのタンパク質の抽出	○
2021年	横浜	5	神経線の機能形態に基づく非鳥類型獣脚類の肩甲骨位置の復元	○
			鼻腔構造にもとづく非鳥類型恐竜類の代謝状態の解明	○
			兵庫県丹波地域の下部白亜系篠山層群から産出した獣脚類恐竜の歯化石の分類学的帰属に関する予察的報告	○
			手取層群伊月層 (福井県大野市) の鳥脚類化石	○
			主竜類のコラーゲンタンパク質量スペクトラム分析と恐竜化石への応用	○
2020年	東京	4	石川県白山市白峰地域の手取層群北谷層から発見された脊椎動物化石含有層に関する予察的報告	○
			古生物学とデザインの相乗効果: Allosaurus (竜脚類: 獣脚目) の復元を例に	○
2019年	静岡	7	兵庫県丹波市から発見された獣脚類恐竜の卵・卵殻化石	○
			足跡化石への3-Dデジタル記録手法適用と今後の展望	○
			フクイサウルスの前肢の形態と機能の予察的研究	○
			モンゴル国ゴビ砂漠西部の上部白亜系から算出した大型アンキロサウルス類行跡化石	○
			Allosaurusの上顎骨および前上顎骨における神経血管系の分布	○
			北海道むかわ町種別から発見されたハドロサウルス科の全身骨格	○
			アラスカ州プリンスクリーク層リスコムボーンベッドから産出した北極圏初のランベオサウルス亜科	○
タイ王国ナコーン・ラチャシマ県下部白亜系コク・クアラト層 (コラート層群) から発見された獣脚類化石	○			
Revision of the postcranial skeleton of Pelecanimimus polyodon (Ornithomimosauria, Lower Cretaceous, Spain)	○			
2019年	神奈川	5	長崎県長崎市の鳥脚類恐竜の予察的研究	○
			脳・内耳形態に基づく角竜類Triceratopsの生態の解明	○
			鳥脚類の足先が内旋する原因	○
2018年	仙台	10	八代山地下部白亜系川口層から産出した恐竜化石	○
			Concavenator corcovatus (Theropoda, Lower Cretaceous, Spain): A diagnostic revision	○
			鹿児島県壺島列島に分布する上部白亜系姫浦層群の地質年代	○
			鹿児島県上島島に分布する姫浦層群から発見された恐竜化石	○
			手取層群の脊椎動物相はどのくらい多様なのか	○
			骨髄質を用いたオルトミモサウルス類の性成熟期の検討	○
			山口県下関市の関門層群下関層群 (前期白亜紀後期) から産出した国内初のデンドロウリトゥス科の卵殻化石	○
			北海道芦別市上部白亜系蝦夷層群野幌川層から産出した獣脚類化石	○
			モンゴル国ゴビ県Khavirgijn Dzoの上部白亜系から産出した大型竜脚類の行跡	○
			モンゴル・ゴビ砂漠ネメグト産地の恐竜足跡化石	○
空中写真の恐竜化石産地についての研究への利用例	○			

			モンゴル、ゴビ砂漠西部恐竜化石産地Khermeen Tsav (ネメグト層) の堆積相と動物相との関係		
2018年	愛媛	11	徳島県勝浦町の下部白亜系立川層 (物部川層群) から発見された竜脚類恐竜の歯		
			モンゴル西部より産出したジュラ紀後期の竜脚類化石		
			中国雲南省禄豊県から産出したYunnanosaurus (基礎的竜脚類) の新たな頭骨化石		
			断片的な標本に基づくモンゴル・上部白亜系Bayan Shire層における竜脚類恐竜の多様性に関する新発見		
			熊本県天草市の姫浦層群 (白亜紀後期) より産出した大型竜脚類の歯化石について		
			3Dデジタルデータを用いた足跡化石の印跡動物の再検討	○	
			モンゴル産Protoceratopsの成長過程とフリル形態の変化		
モンゴル・ネメグト層から産出するオルニトミモサウルス類: 手の形態変化と多様性					
主竜類における磨化日数の変遷	○				
タイ国東北部の足跡産地Huai Adam Chumから産する恐竜足跡群					
下部白亜系薩山層群の脊椎動物化石新産地					
2017年	北九州	4	福岡県の下部白亜系関門層群より産出した恐竜類の多様性		
			モンゴル国上部白亜系ジャドフタ層の奥成層に印跡された竜脚類足跡の形成過程について		
			Nipponosaurus sachalinensisの成長段階の骨組織学評価および系統位置の再検討	○	
○	○	○	○	○	
2017年	東京	9	香川県さぬき市の上部白亜系和泉層群から産出した恐竜類の椎体		
			実験発生学的観点からの恐竜研究	○	
			Bone histology of lates Cretaceous hadrosaurs of Far Eastern Russia		
			モンゴル国ゴビ砂漠南東部産出した上部白亜系竜脚類足跡化石		
			岩手県上部白亜系久慈層群産竜脚類の分類および比較		
			モンゴル恐竜化石群集へのfaunal turnover手法の応用		
			竜脚類Herrerasaurus ischigualastensisの足部筋肉系の復元	○	
恐竜産地の研究への空中写真の応用1					
恐竜産地の研究への空中写真の応用2					
2016年	福井	9	化石主竜類における足部筋の進化史解明に向けた現生爬虫類における足部筋の相同関係の解明	○	
			マメンチサウルス類の系統分類		
			モンゴル上部白亜系産カエナグナサス類について		
			魅せる恐竜の脳~型取りによる透明模型の開発~	○	
			福井県勝山市に分布する手取層群北谷層より産出したイグアノドン類足跡化石		
			奇妙な鳥盤類恐竜の腸骨について		
			福井県大野市九頭竜地域の手取層群伊月層より産出する前期白亜紀生物群		
恐竜は極域でいかに営巣したか	○				
Tambatitanis amicitiiaeの骨格復元	○				
2016年	京都	7	長崎県上部白亜系三ツ瀬層の竜脚類の歯について		
			胃石の形状に基づいた主竜類の食性推定方法の構築	○	
			福井県勝山市における第4次恐竜発掘調査で産出した足跡化石群		
			イグアノドン類の脳復元	○	
			モンゴルの上部白亜系バヤンシレ層から発見された二指性のテリジノサウルス類		
			福井県南相馬市に分布する相馬中層群から産する恐竜足跡化石		
			First record of an ornithomimid from the Djadokhta Formation (Campanian) of Togrokin Shiree, Mongolia		
2015年	豊橋	6	大型のオヴィラプトロサウルス類恐竜は抱卵したか	○	
			モンゴルの上部白亜系ネメグト層のオルニトミモサウルス類		
			タイ国東北部の足跡産地Tha Uthenから産する恐竜足跡化石群集		
○	○	○	○	○	
2015年	つくば	2	モンゴル国ゴビ砂漠東部の上部白亜系から産出した二指性の竜脚類足跡化石		
			米国ユタ州で発見された下部白亜系シダー・マウンテン層の竜脚類の研究とその意義		
○	○	○	○	○	
2014年	兵庫	13	化石主竜類における中足骨上の筋復元	○	
			Tyrannosaurusの前肢は体重を支えるのにどこまで役立たず?	○	
			下部白亜系北谷層から発見されたイグアノドン類の体骨格化石		
			丹羽竜復元画の製作過程とその意義		
			熊本県天草市御所浦町の下部白亜系鳥帽子層より産出した鳥脚類の歯化石について		
			恐竜化石を産出するモンゴル上部白亜系奥成層を構成する石英のカソドリズムネッセンス特性		
			モンゴルのゴビ砂漠産恐竜化石に残された生痕化石のタフォノミー		
			石英の結晶化学的性質を用いたモンゴル産恐竜化石の産地特定に関する検証		
			骨組織学的アプローチから復元する竜脚類恐竜の成長様式	○	
			タイ国東北部Khorat層群における恐竜類足跡化石相とその多様性		
			アラスカ・プリンスクリーク層から見つかったEdmontosaurus sp.の幼体の分類について		
			米国アラスカ州から発見された恐竜メガトラクササイト: 極端な食行動についての意義		
			兵庫県の下部白亜系薩山層群産竜脚類の尾椎に見られる独特の形質について		
モンゴルから初めて発見された恐竜管巢地によるテリジノサウルス類の巣行動の解明	○				
北海道むかわ町種別の上部白亜系函館層から発見されたハドロサウルス科恐竜化石発見の報告					
○	○	○	○	○	
2014年	福岡	5	主竜類の管巢様式の進化	○	
			下部白亜系関門層群より産出した新角竜類化石		
			鹿児島県薩摩川内市下飯島の姫浦層群 (白亜紀後期) から産出した恐竜化石について		
			ストロンチウム同位体分析によるアラスカのEdmontosaurusの渡り仮説の検討	○	
			刺竜類と竜脚類の皮膚における成長様式の差異: 装飾類恐竜がもつ皮膚機能の多様性		
2013年	横浜	5	長崎県長崎市の上白亜系三ツ瀬層から発見されたハドロサウルス上科鳥脚類の化石について		
			タイ国東北部Khorat層群における恐竜類の足跡化石について		
			恐竜類における骨盤・大腿骨の筋骨格系の進化と姿勢の進化パターン		
			モンゴル産恐竜化石の学術的価値再生へ向けた地球化学的研究		
			カナダ・アルバータ州南部産のオルニトミムス科の再検討		
○	○	○	○	○	
2013年	熊本	9	○	○	○
			○	○	○
			○	○	○
			○	○	○
			○	○	○
			○	○	○
			○	○	○
2012年	群馬	3	○	○	○
			○	○	○
			○	○	○
2012年	名古屋	5	○	○	○
			○	○	○
			○	○	○
2011年	高知	7	○	○	○
			○	○	○
			○	○	○
			○	○	○
			○	○	○
			○	○	○
			○	○	○
2011年	金沢	3	○	○	○
			○	○	○

2010年	草津	2	獣脚類恐竜Tarbosaurus bataarの脳函形態、特に脳エンドキャストと後頭部の筋肉付着部位に関する新発見 A unique-shaped iguanodontian dentary from the Lower Cretaceous Khok Kruat Formation, Nakhon Ratchasima, northeastern Thailand 兵庫県丹波市の篠山層群より産出した竜脚類の種・属レベルの分類について モンゴル上部白亜系からの小型バキセファロサウルス類の系統的位置 ティラノサウルスは本当に速く走れないか 基礎的竜脚類における咀嚼器官の学術的解析 御船層群から産出した白亜紀後期獣脚類の新標本 A new ornithischian dinosaur from the Late Cretaceous Of Tianatai County in Zsheijang Province	○
2010年	つくば	6	鳥脚類足跡化石に基づくモンゴル産ハドロサウルス類Saurulophus angustirostrisの後肢足跡骨格の復元 Ontogeny of Lufengosaurus huenei from the Lower Lufeng Formation, Yunnan, China プロテクトラス類における頰歯の発生様式	
2009年	沖繩	3	Small-sized iguanodontian dentary from the Early Cretaceous Kitadani Formation in Fukui Prefecture, central Japan Evolution of cranial pneumaticity of theropoda with emphasis on Ornthomimus edmontonicus (Ornthomimidae: Theropoda) 恐竜の脳のリプリカ製作法	
2009年	千葉	3	恐竜化石標本の剥出のための技法及び資機材の紹介 モンゴル国ゴビ砂漠南部ツリギンシレーに分布する上部白亜系ジャドフタ層の堆積環境と恐竜の生息環境	
2008年	宇都宮	5	Large hemal arch from the Early Jurassic Lower Lufeng Formation in Yunnan, China 群馬県神流町の瀨川層から産出した竜脚類化石 胸郭骨格の形態から推測される獣脚類の呼吸器系進化	
2008年	仙台	5	兵庫県丹波市の篠山層群より産出したティタノサウルス形態の追加標本について New dinosaur remains from the Lower Cretaceous Kitadani Formation, Tetori Group, Fukuui, Japan 獣脚類恐竜Avimimus portentosusの胸帯、前肢及び胸骨に関する新知 モンゴル国上部白亜系より産出する鳥脚類の足跡化石 恐竜Stegosaurusの体骨格と皮膚の成長様式	
2007年	徳島	5	モンゴル国南部の上部白亜系ネメグト層から新しく発見したAvimimus (Theropoda: Oviraptorosauria) とその地質年代 モンゴル白亜紀後期の特殊な恐竜生息環境：ジャドフタ層 モンゴル南部上部白亜系から新しく産出した小型バキセファロサウルス類 有限要素解析による鳥脚類恐竜の頭骨構造の考察 モンゴル国ゴビ砂漠南部アギンツァフ地域の上白亜系から読み解く恐竜の生息環境	○
2007年	大阪	1	兵庫県丹波市より産出した保存良好なティタノサウルス類の骨格化石について	
2006年	京都	2	ティラノサウルス類恐竜における肋骨関節の比較解剖学的研究 北海道中川町の上白亜系から産出したテリジノサウルス科の恐竜化石（竜盤目：獣脚亜目）	
2005年	山形	4	側方を向いた竜脚類の前足一モロッコ国西部、中部ジュラ系の竜脚類行跡化石から得られた証拠 カナダ・アルバータ州恐竜州立公園の非海成プレシオサウルス類化石 姫浦層群上部白亜系からの恐竜足跡化石の産出 Superexcellent preservation of dinosaur foot prints in Nakhon Phanom in northeast Thailand	
2005年	東京	7	熊本県上部白亜系御船層群のオルニトミサウルス類化石 Stegosaurusの皮膚装甲における骨組織 兵庫県洲本市より産出したハドロサウルス化石 モンゴル国上部白亜系の歩角の小さい恐竜足跡の印跡動物 Significance of the Hokkaido Nodosaurid Triceratopsの前肢骨格の構造と二次的跖足歩行に関する考察 2次元有限要素法によるTyrannosaurusの頭骨の構造解析 北海道羽幌町上部白亜系から産出した海生爬虫類化石	
2004年	御所浦	3	北海道白亜系産の魚竜として報告されていた長頭竜化石「Myosternygius(?)」と三笠産Polycotyloidea 長頭竜化石 エラスモサウルス類の系統解析におけるデータ（形態・分類群）選択の影響について 変形した化石の三次元的解析および復元—三疊紀初期魚竜Utatusaurus hatatiへの適用	
2003年	横浜	4	東アジアと東南アジアの恐竜足跡の再検討 日本の恐竜足跡の再検討とアジアの恐竜足跡との比較 石川県白峰村手取層群魚竜層から産出した鳥脚類恐竜（Ornthischia:Ornthopoda）の頭骨化石 ハドロサウルス科の系統についての再検討	
2003年	静岡	4	熊本県上部白亜系御船層群から産出したテリジノサウルス類の脳函化石 モンゴル国の上部白亜系より産出した Macrocephalosaurus 属の新標本について（Squamata, Teiidae） 群馬県中里村の石室層（下部白亜系）で産出した獣脚類の歯の化石	
2002年	勝山	4	中国甘肅省鹽池峽（Yanguoxia）の脚跡足跡化石 モンゴル国上部白亜系産獣脚類足跡化石に見られる集団行動の証拠 カナダ・サスカチュワン州から発見されたエラスモサウルス類について 熊本県上部白亜系御船層群からのテリジノサウルス類化石	
2001年	茨城	2	Nipponosaurus sachalinensis Nagao, 1936 (Dinosauria: Hadrosauridae): anatomy and systematic position 初期の恐竜足跡Gallatorのサイズの時代的変遷	
2000年	富岡	3	エドモントニア属（ノドサウルス亜科、曲竜類、鳥盤目、恐竜）の骨質装甲板の形態学および病理学的特徴 米国ワイオミング州から発見されたノドサウルス類（曲竜類、鳥盤目、恐竜）全身骨格の機能形態学および分類学的特徴 米国ユタ州から発見されたアロサウルス属（獣脚類、竜盤目、恐竜）全身骨格化石の機能形態学および分類学的特徴	
1999年	仙台	2	モンゴル、ゴビ砂漠地域におけるジャドフタ層（白亜紀後期）の恐竜生息環境の多様性 モンゴル国ゴビ砂漠の上部白亜系から産出した豊富な恐竜足跡化石	
1998年	札幌	2	Two plesiosaurian fossils (UMUT MV 19965 and NM-1) from the Upper Cretaceous of Hokkaido コウモリダコ目の過去と現在—エラスモサウルス科長頭竜の顔としての白亜紀コウモリダコ目（頭足類：鞘形綱）の頭蓋— モンゴル国、ゴビ砂漠東部、バインシレ（バインシレ層、上部白亜紀）から初めて発見された恐竜卵・巣化石群	
1998年	小田原	4	恐竜類の軀体大化に見られる2つのタイプ 石川県白峰村手取層群産化石 北海道小平地産後期白亜紀長頭竜化石に隣接する頭足類頭蓋	
1997年	豊橋	3	Variation in humeral morphology among hadrosaurids (Dinosauria): evidence for locomotor evolution within Iguanodontia 宮城県本吉郡歌津町鶴崎付近でのウタツ魚化石の産状・分布状態について Utatusaurus hatati Shikama, Kamei and Murata, 1978の図示標本（KUJM93001）の形態	
1997年	京都	6	宮城県雄勝町産初期三疊紀魚竜（雄勝標本）のAffinity 宮城県歌津町菅の浜から産出した三疊紀中期魚竜化石について(3) 北九州市内から新たに産した恐竜化石（概報） 三重県鳥羽市の下部白亜系松尾層群で見つかった竜脚類化石とその分類学的意義 御船層群上部層から産出したイグアノドン類について 韓国慶尚超層群（下部白亜系）産の最古の恐竜足跡とその意義	
1996年	新潟	1	御船層群上部層（セノマニアン上部～チュロニアン下部）からのイグアノドン類の産出について	
1996年	大阪	6	モンゴル国ゴビ砂漠地域の古生物学共同調査1995年の成果その1、西武、中央ゴビ モンゴル国ゴビ砂漠地域の古生物学共同調査1995年の成果その2、東部ゴビ First record of pterosaurs from the Early Cretaceous Amagadani Formation (Tetori Group) of Gifu Prefecture, Honshu, Japan 富山県東部の下部白亜系手取層群から産出した小型獣脚類の足跡 宮城県歌津町菅の浜から産出した三疊紀中期魚竜化石の古生物学的研究(2) 北海道中川町産白亜紀後期長頭竜化石（爬虫綱、長頭竜目）の系統解析	
1995年	横須賀	1	北海道オビランベ川上流から産出した長頭竜目アロサウルス上科の化石	
1995年	名古屋	3	93年、94年モンゴル国ゴビ砂漠地域の白亜系共同調査報告 北海道中川町産白亜紀後期の長頭竜（鱗竜上目、爬虫綱）化石の形態的特徴（予報） 魚竜の相対成長：ジュラ紀前期Stenopterygius, Ichthyosaursのケーススタディ	
1994年	熊本	3	宮城県歌津町菅ノ浜産魚竜化石の層序と大沢層のコノドント群集 山口県下関市吉母海岸の恐竜足跡化石 大阪府貝塚市葛原産モサウルス類の再検討	
1992年	東京	2	Three age groups of iguanodontid dinosaur footprints from the Lower Cretaceous Dakota Group, eastern part of Colorado Plateau 中国東部の下部白亜系から産出した恐竜足跡と東アジアの"Dinosaur Freeway"の可能性	
1992年	岩手	1	長野県小谷村に分布する来馬層群からの竜脚類化石の産出とその古生物地理学的意義	
1992年	福岡	3	歌津魚竜化石分布調査について 新たに発見される関門層群の恐竜化石産地 日本における恐竜研究の新たな展開	

1990年	東京	5	福井県勝山市産の恐竜群	
			石川県白峰村産の恐竜群	
			Dinosaur tracks and radial cracks: unusual footprint features	
			岐阜県白川村手取層群から発見された恐竜の足跡化石	
			カモノハシ竜 <i>Edmontosaurus</i> の腿の構造と機能	
1990年	瑞浪	2	Smaller dinosaur, Hypsilophodon tooth from Gifu Prefecture	
			関門層群から恐竜化石の発見	
1988年	東京	1	モロッコ産、獣脚類恐竜の足跡について	
1987年	静岡	1	四川省岳池県の恐竜の足跡の研究	
1987年	福井	3	手取層群より産出した恐竜化石とその意義	
			竜脚類恐竜の足跡について	
			福島県広野町双葉層群産恐竜化石群	

「恐竜学」について扱っている著書の一覧

No	タイトル	著者等	発行年	総頁数
1	ミクロの恐竜学	福田芳夫	1989	196
2	足跡でたどる恐竜学	ロックレイ, G.M (著)、松川正樹、小島郁生 (訳)	1991	172
3	恐竜学最前線 (1)	Gakken	1992	129
4	恐竜学	小島郁生 (編)、犬塚則久ほか (著)	1993	368
5	恐竜学最前線 (2)	Gakken	1993	130
6	恐竜学最前線 (3)	Gakken	1993	130
7	恐竜学最前線 (4)	Gakken	1993	130
8	恐竜学最前線 (5)	Gakken	1994	130
9	恐竜学最前線 (6)	Gakken	1994	130
10	恐竜学最前線 (7)	Gakken	1994	130
11	恐竜学最前線 (8)	Gakken	1994	130
12	恐竜学最前線 (9)	Gakken	1995	129
13	恐竜学最前線 (10)	Gakken	1995	129
14	恐竜学最前線 (11)	Gakken	1995	129
15	恐竜学最前線 (12)	Gakken	1995	129
16	恐竜の動物学: 恐竜学の近代化へ向けて	日本動物学会関東支部 (編)	1996	154
17	恐竜学最前線 (13)	Gakken	1996	130
18	恐竜学のすすめ	金子隆一	1997	146
19	新恐竜伝説: 最古恐竜エオラプトルから恐竜人類まで、恐竜学の最先端!	金子隆一	1997	282
20	最新恐竜学	平山廉	1999	275
21	痛快!恐竜学	平山廉	2001	150
22	恐竜学がわかる	朝日新聞社	2001	175
23	図解・最新恐竜学がわかる本	福田芳夫	2002	175
24	最新恐竜学レポート	金子隆一	2002	221
25	恐竜を掘りにいく: 謎だらけの生態を解き明かす最新恐竜学	濱田隆士 (監修)	2002	189
26	メアリー・アニングの冒険: 恐竜学をひらいた女化石屋	吉川惣司、矢島道子	2003	339
27	恐竜学: 進化と絶滅の謎	Fastovsky, D.E and Weishampel, D.B (著)、真鍋 真 (監訳)	2006	496
28	恐竜学入門	Mike Taylorほか	2008	189
29	アライドチキンの恐竜学: 食卓の骨には進化のナゾがまっている	盛口満	2008	214
30	恐竜学ノート: 恐竜造形家・荒木一成のこうすればかっこうよく作れる恐竜模型	荒木一成	2008	36
31	大人のための「恐竜学」	小林快次 (監修)	2013	202
32	これならわかる!クイズ式の新しい恐竜学	福井県立恐竜博物館	2013	143
33	恐竜学: 失われた島・ヤンナバル探検記	テンブラー社	2013	30
34	恐竜学入門: かたち・生態・絶滅	Fastovsky, D.E and Weishampel, D.B (著)、真鍋 真 (監訳)	2015	396
35	新・恐竜学: 鳥になった恐竜の脳科学: 岐阜県博物館開館40周年記念特別展	岐阜県博物館	2016	68
36	そうだったのか!初耳恐竜学	富田京一	2017	159
37	新説 恐竜学	平山廉	2019	208
38	恐竜学	真鍋 真	2020	200
39	みんなの恐竜学: 岐阜県博物館特別企画展	岐阜県博物館	2020	92
40	福井恐竜学	福井県立大学恐竜学研究所 (編著)	2021	78
41	恐竜学者は止まらない!: 読み解け、卵化石ミステリー	田中康平	2021	406
42	恐竜学博物館図鑑	岡山理科大学恐竜学博物館 (編)	2022	156
43	デジタル時代の恐竜学	河部壮一郎	2024	222
44	恐竜学検定公式ガイドブック初級・中級	平沢達矢ほか (監修)	2024	140

大学における「恐竜学」が含まれる講義一覧

No	講義名	大学	国名	担当教員
1	恐竜学	福井県立大学	日本	柴田正輝
2	実践恐竜学	福井県立大学	日本	柴田正輝
3	恐竜学	日本大学	日本	藤原慎一
4	恐竜学Ⅰ	岡山理科大学	日本	林昭次
5	恐竜学Ⅱ	岡山理科大学	日本	千葉謙太郎

福井県の恐竜化石研究略史年表

	福井県立恐竜博物館・福井県立大学恐竜学研究所	発見・発掘 (主に勝山関連)	学術研究論文	参考 (国内)
1934				ニッポノサウルス (サハリン)
1965				恐竜卵化石 (山口) (2017公表)
1966		日本初の中生代陸生爬虫類 「テドリリュウ」発見 (福井市)		
1978				日本初の恐竜「モシリユウ」 (岩手)
1979				日本初の獣脚類「ミフネリュウ」 (熊本)
1981	福井県立博物館建設準備室設置 (県教育委員会)			オルニトミモサウルス類 「サンチュウリュウ」 (群馬)
1982		中生代ワニ化石発見		手取層群初の恐竜「カガリュウ」 (石川)
1984	福井県立博物館開館			
1986				竜脚類の歯「ヒサノハマリュウ」 (福島) ハドロサウルス類? (香川) (2016公表)
1987	日本古生物学会例会 (県立博物館)			
1988	石川県白峰調査	勝山市北谷予備調査・肉食恐竜の歯など		鳥盤類の歯 (岐阜)
1989		第1次発掘調査開始 (～1993) フクイサウルス (歯) 発見		
1990	特別展「恐竜時代-日本と中国」			獣脚類の歯 (福岡)
1991		フクイラプトル (末節骨) 発見 恐竜足跡化石発見	足跡化石イツキサウロプス記載論文 (大野市)	
1992	中国—日本共同シルクロード恐竜発掘調査 (～1993)			
1994	日本産恐竜で初の全身骨格復元 (フクイサウルス)			イグアノドン類の歯 (徳島)
1995	日本・中国・モンゴルの三国共同恐竜化石調査 (～1999) 特別展「手取層群の恐竜」	第2次発掘調査開始 (～1999)		ノドサウルス類 (北海道)
1996	恐竜博物館建設準備グループ (県教育委員会～)			竜脚類「トバリユウ」 (三重)
1997	ニッポノサウルスのクリーニング・骨格復元			
1999			ティラノサウルス類の歯記載論文 (大野市) (1996発見)	獣脚類の歯 (富山)
2000	福井県立恐竜博物館開館 ロイヤル・ティレル古生物博物館と姉妹提携調印 フクイラプトル全身骨格復元		フクイラプトル記載論文 (勝山市)	
2001	中国科学院古脊椎動物古人類研究所の研究所と姉妹提携調印 特別展「ロイヤル・ティレル古生物学博物館の恐竜たち」			
2002	日本古生物学会年会 (恐竜博物館) 特別展「眠りからさめた福井の恐竜たち —恐竜化石調査成果と収蔵庫の化石—」		鳥類足跡化石アクアティラピベス記載論文 (大野市) (1987発見)	
2003	特別展「オーロラをみた恐竜たち」		フクイサウルス記載論文 (勝山市)	
2004	浙江自然博物館との姉妹提携 特別展「中国大陸の6億年」		哺乳類シンメトロステス記載論文 (勝山市)	鳥脚類 (長崎) ハドロサウルス類 (兵庫)
2005	特別展「大空に羽ばたいた恐竜たち」			
2006	徳島県立博物館と連携博物館提携 特別展「恐竜以前—エディアカラの不思議な生き物たち—」		恐竜足跡ルーフェンゴプス記載論文 (中国) 翼竜ファジャプテルス記載論文 (中国) 恐竜卵化石記載論文 (中国)	タンパティタニス発見 (兵庫)
2007	タイでの恐竜化石調査開始 (継続中) 中国浙江省での恐竜化石調査開始 (継続中) ミュージアムパーク茨城県自然博物館と連携博物館提携 特別展「クジラが陸を歩いていた頃—恐竜絶滅後の王者—」	第3次発掘調査開始 (～2010) フクイティタン・フクイベナートル発見 獣脚類・鳥類足跡化石発見 (福井市)	チェジャンゴサウルス記載論文 (中国) ユンナノサウルス記載論文 (中国)	獣脚類の歯 (和歌山)
2008	自貢恐竜博物館との姉妹提携調印 国際恐竜シンポジウム 特別展「K/T—絶滅期の恐竜と新時代の生き物たち—」	コシサウルス発見	ドンヤンゴサウルス記載論文 (中国)	獣脚類の歯 (鹿児島)
2009	実物カマラサウルス全身購入 特別展「恐竜のくらしの森—恐竜は花を見たか?—」		翼竜足跡化石ブレイクヌス記載論文 (勝山市)	アルバロフォサウルス記載論文 (石川)
2010	カーネギー自然史博物館との姉妹提携調印 中国地質科学院地質研究所との姉妹提携調印 河南省地質博物館との姉妹提携調印 特別展「アジア恐竜時代の幕開け—巨大恐竜の進化—」		フクイティタン記載論文 (勝山市) 恐竜卵化石記載論文 (中国)	
2011	モンタナ州立大付属ロッキー博物館との姉妹提携調印 特別展「新説・恐竜の成長」		ラチャシマサウルス記載論文 (タイ王国) ユエオサウルス記載論文 (中国)	ハドロサウルス類「むかわ竜」 (北海道)
2012	特別展「翼竜の謎—恐竜が見あげた『竜』」			
2013	福井県立大学恐竜学研究所開設 アジア恐竜協会発足 特別展「発掘! 発見! 1億年の時を越えて」	第4次発掘調査開始 オルニトミモサウルス類発見 日本初の中生代鳥類骨格発見	ドンヤンゴベルタ記載論文 (中国)	
2014	野外恐竜博物館オープン タイ王国シリントーン博物館と姉妹提携調印 アジア恐竜国際シンポジウム福井 特別展「スペイン—奇跡の恐竜たち—」		鳥類卵化石記載論文 (勝山市) バングラプトル記載論文 (中国)	タンパティタニス記載論文 (兵庫)
2015	大野市と化石の共同調査等に関する協定を締結 アロサウルス等林原標本購入 特別展「南アジアの恐竜時代」	アンキロサウルス類足跡発見	コシサウルス記載論文 (勝山市) 哺乳類 (多臼歯類・真三錐歯類) 記載論文 (勝山市) シリントーナ記載論文 (タイ王国)	
2016	日本古生物学会年会 (県大) 特別展「恐竜の大移動」		フクイベナートル記載論文 (勝山市)	
2017	恐竜化石とその発掘現場が国の天然記念物に指定 特別展「恐竜の卵—恐竜誕生に秘められた謎—」	国内最古ヨロイ竜の歯発見	世界最古のスポーン類記載論文 (勝山市)	
2018	大学 古生物学領域設置・大学院教育開始 特別展「獣脚類—鳥に進化した肉食恐竜たち—」		鳥脚類足跡化石記載論文 (勝山市) ジンユンベルタ記載論文 (中国)	
2019	特別展「恐竜の脳力—恐竜の生態を脳科学で解き明かす—」		フクイプテリクス記載論文 (勝山市) シャムラプトル記載論文 (タイ王国)	カムイサウルス (むかわ竜) 記載論文 (北海道)
2020	特別展「福井の恐竜新時代」	トカゲ類化石発見	スピノサウルス科 (歯) 記載論文 (勝山市) 下関市卵化石記載論文 (山口)	
2021	特別展「海竜—恐竜時代の海の猛者たち—」		ゴキブリ類化石記載論文 (勝山市) フクイベナートル再記載論文 (勝山市)	
2022			ティラノサウルス下顎血管神経管解剖論文 (博物館標本)	ヤマトサウルス記載論文 (兵庫) バラリテリジノサウルス記載論文 (北海道)
2023	恐竜博物館リニューアルオープン	第4次発掘調査終了	ティラノミムス記載論文 (勝山市) 高輝度シンクロトン放射光を利用した恐竜化石研究論文 (勝山市)	
2024	特別展「パッドランドの恐竜たち—北アメリカの1億年—」		ゴニオフォリス科記載論文 (勝山市)	

日本古生物学会における発表件数のうち、伝統的手法以外のデジタル、生理学、解剖学などを応用した発表の一覧
(グラフ3のバックデータ)

・2010年以降伝統的手法以外の技術を用いた発表は増加している。

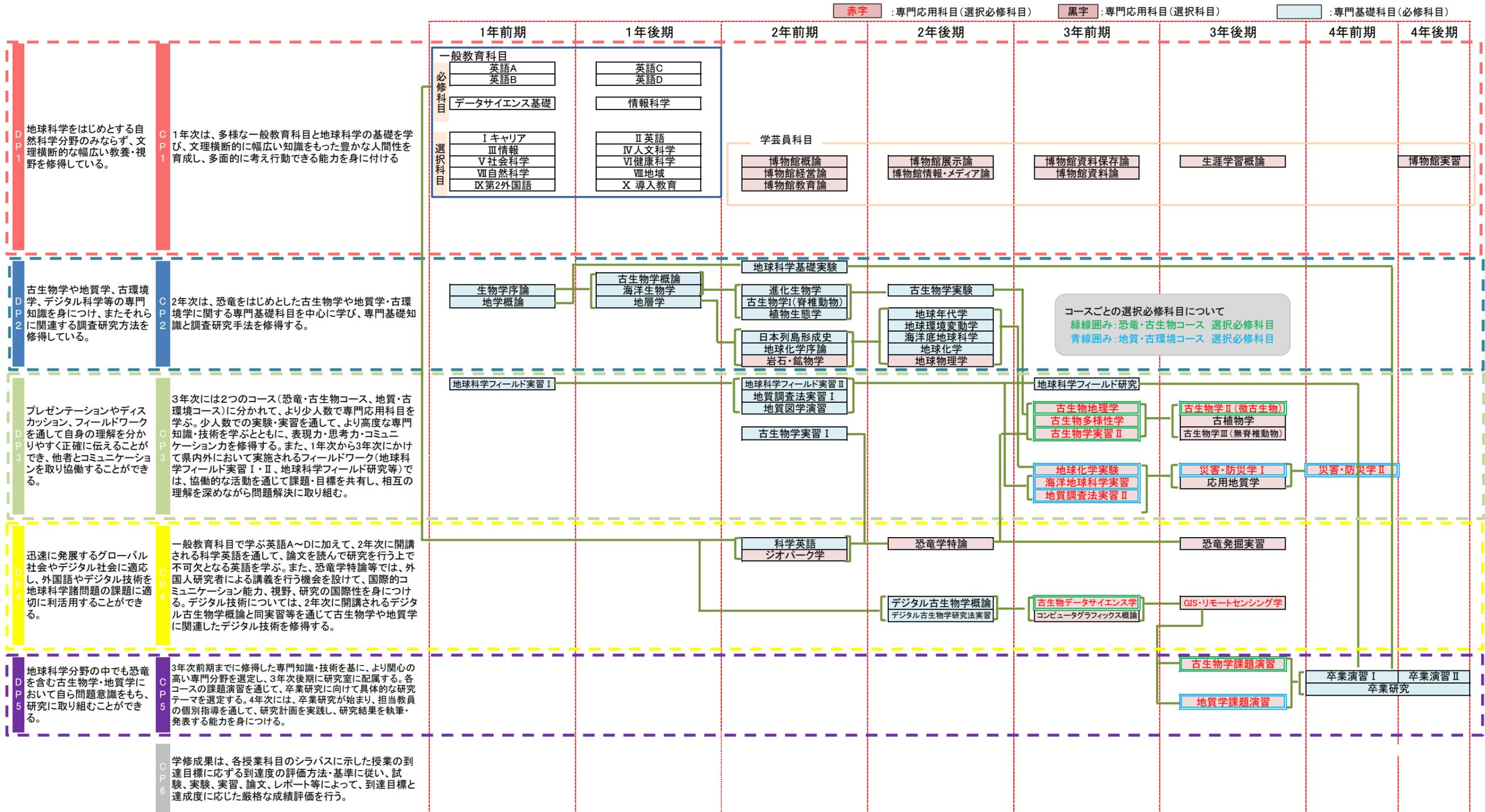
※別紙資料1-1より抜粋

開催年	開催地	件数	タイトル
2024年	高知	6	系統比較法を用いた絶滅した恐竜類胚の体重推定法の確立
			イグアノドン類(鳥脚類)上顎における歯への栄養供給経路の解析
			板橋区立教育科学館に展示されているTriceratops標本について
			イグアノドン類の歯骨歯に見られる乳頭状突起の形態的特徴
			手取層群北谷層から産出した、Paravesの前肢骨化石
2024年	仙台	3	熊本県の畑浦層群下津深江層から産した日本初のティラノサウルス科の下顎骨化石
			福井県勝山市の北谷層から産出した幼体の竜脚類神経弓(予察)
2023年	福岡	4	大型化石内部の非破壊観察を目的としたシンクロトロン放射光活用の進展:Spring-8における測定事例
			北海道後期白亜紀成層産ハドロサウルス科にみられる生物侵食
			Liaoceratops における上顎内血管神経管の分布領域の違いによる形態学的変異について
2022年	金沢	4	兵庫県丹波篠山市に分布する篠山層群大山下層産獣脚類恐竜の新たに確認された部位と系統学的位置の検討
			夕張市産ヨロイ竜類頭骨化石の内部構造の復元
			久慈層群玉川層(後期白亜紀)産竜脚類化石の三次元マイクロウェア解析
2022年	名古屋	6	モンゴル・バルンゴヨット層(上部白亜系)から産出した新しいアルバレッツサウルス科化石から探る走行性と敏捷性の適応と多様化
			北海道中川町オソウシナイ層から発見されたマニラプトル類化石の再研究とテリジノサウルス類の末節骨の進化と機能への示唆
			カマラサウルスの上顎および下顎の血管神経管の解析
2021年	岡山	9	現生鳥類の呼吸鼻甲介着部の骨学的特徴に基づく非鳥類恐竜類における鼻甲介の存在可能性の予察的検討
			Fukuivenator paradoxusの系統的位置の再検討
			組織形態・特殊染色による恐竜類骨髄骨の識別法
			ピナコサウルスから考察する竜脚類における歯の交換様式
			化石に保存された前肢骨格関節角度の比較解析から探る獣脚類系統における前翼膜の進化
			中国下部白亜系義興層陸家屯部層のプシッタコサウルス科とその系統関係
			福井県勝山市の下部白亜系北谷層から産出した大型獣脚類の行跡
			Fukuitan nipponensisの四肢骨復元
			角竜類Psittacosaurusの脳・内耳形態の解析
獣脚類恐竜Tarbosaurusの歯に見られるマイクロウェアと微細内部構造の検討			
2021年	横浜	3	ティラノサウルスの歯骨に見られる複雑な血管神経系
			リンモリブテン酸含浸法を用いて明らかにした主竜類の肩・肘関節における軟骨・靭帯の三次元分布
			主竜類の胃の進化:胃石の形状変遷
2020年	東京	2	モンゴル国産脊椎動物化石からのタンパク質の抽出
			神経線の機能形態に基づく非鳥類型獣脚類の肩帯位置の復元
2019年	静岡	2	鼻腔構造にもとづく非鳥類恐竜類の代謝状態の解明
			主竜類のコラーゲンタンパク質量スペクトラム分析と恐竜化石への応用
2019年	神奈川	1	古生物学とデザインの相乗効果:Allosaurus(竜盤類:獣脚目)の復元を例に
			足跡化石への3-Dデジタル記録手法適用と今後の展望
2018年	仙台	1	Allosaurusの上顎骨および前上顎骨における神経血管系の分布
			Revision of the postrantral skeleton of Pelecanimimus polyodon (Ornithomimosauria, Lower Cretaceous, Spain)
2018年	愛媛	2	脳・内耳形態に基づく角竜類Triceratopsの生態の解明
			骨髄骨を用いたオルニトミモサウルス類の性成熟期の検討
2017年	北九州	2	3Dデジタルデータをを用いた足跡化石の印跡動物の再検討
			主竜類における孵化日数の変遷
2017年	東京	2	Nipponosaurus sachalinensisの成長段階の骨組織学評価および系統位置の再検討
			獣脚類恐竜・オルニトミモサウルス類の走行能力適応
2016年	福井	4	実験発生学的観点からの恐竜研究
			獣脚類Herrerasaurus ischigualastensisの足部筋内系の復元
			化石主竜類における足部筋の進化史解明に向けた現生爬虫類における足部筋の相同関係の解明
			魅せる恐竜の脳~型取りによる透明模型の開発~
2016年	京都	2	恐竜は極域でいかに営巣したか
			Tambatitanis amicitiaeの骨格復元
2015年	豊橋	2	胃石の形状に基づいた主竜類の食性推定方法の構築
			イグアノドン類の脳の復元
2015年	つくば	1	大型のオヴィラプトロサウルス類恐竜は抱卵したか
			化石主竜類における中足骨上の筋復元
2014年	兵庫	3	Tyrannosaurusの前肢は体重を支えるのにどこまで役立たず?
			骨組織学的アプローチから復元する竜脚類恐竜の成長様式
			モンゴルから初めて発見された恐竜営巣地によるテリジノサウルス類の巣行動の解明
2014年	福岡	1	主竜類の営巣様式の進化
			ストロンチウム同位体分析によるアラスカのEdmontosaurusの渡り仮説の検討
2013年	熊本	1	ハドロサウルス類の腿付着部の組織学的構造
			マイクロCTスキャンデータを用いた鳥盤類恐竜Albalophosaurus yamaguchiorumの頭骨の3D デジタル復元
2011年	高知	1	マイクログリフスキャンデータを用いた鳥盤類恐竜Albalophosaurus yamaguchiorumの頭骨の3D デジタル復元
			恐竜復元のためのダチョウの足の解剖
2010年	草津	1	恐竜復元のためのダチョウの足の解剖
			獣脚類恐竜Tarbosaurus bataarの脳形態、特に脳エンドキャストと後頭部の筋肉付着部位に関する新知見
2007年	徳島	1	有限要素解析による鳥脚類恐竜の頭骨構造の考察

合計: 65

養成する人材像とCP・DP・授業科目との相関を表すカリキュラムツリー

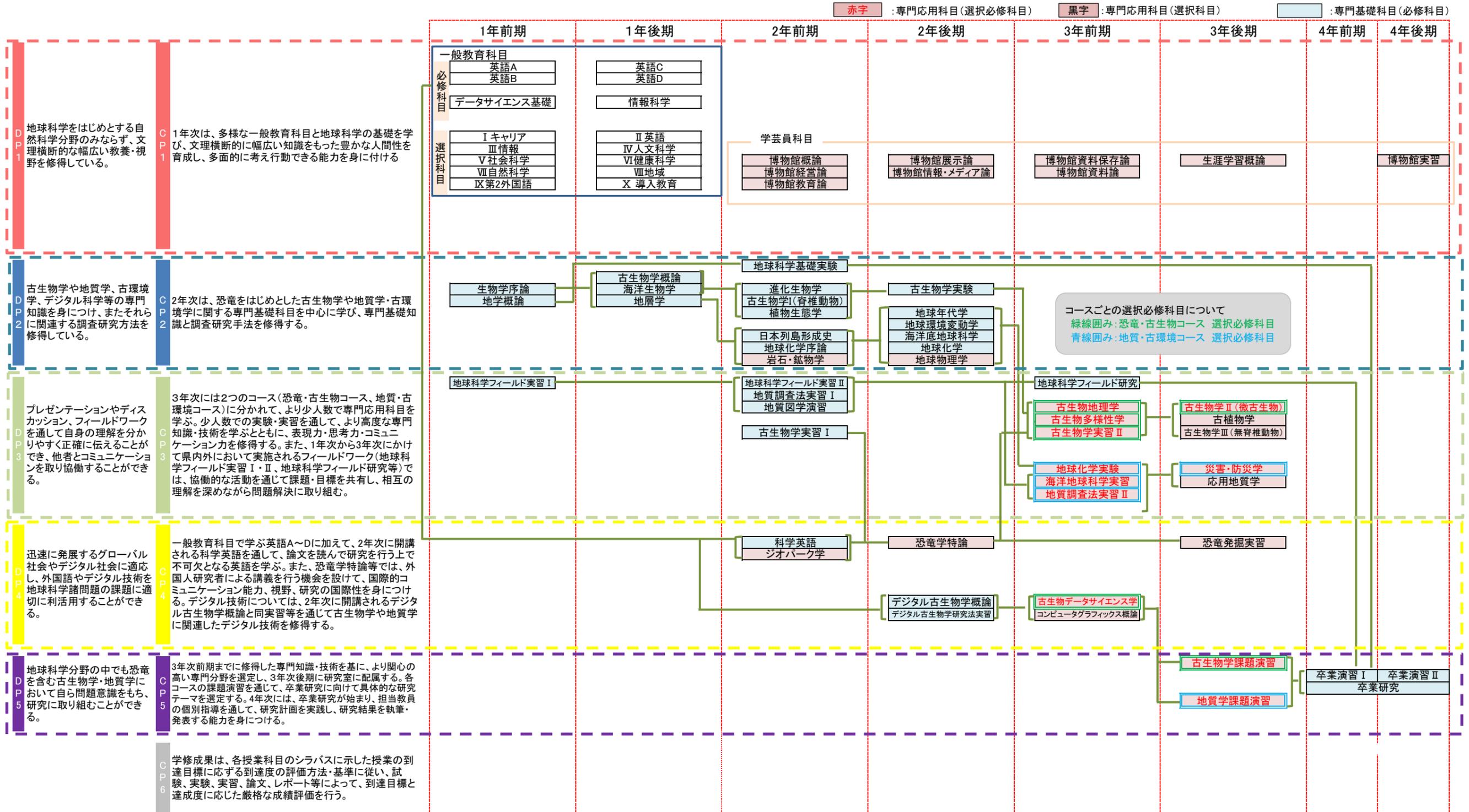
養成する人材像：現代社会の地球科学諸問題に対応するため、幅広い教養と地球科学に関する知識・技術を持ち、多様な局面において協働的および自主的に課題を探索・解決できる人材を育成する。



養成する人材像とCP・DP・授業科目との相関を表すカリキュラムツリー

補正前

養成する人材像：現代社会の地球科学諸問題に対応するため、幅広い教養と地球科学に関する知識・技術を持ち、多様な局面において協働的および自主的に課題を探索・解決できる人材を育成する。



ディプロマポリシーと授業科目の相関

補正後

科目区分	授業科目の名称	配当年次	講義形態	単位数	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
					地球科学をはじめとする自然科学分野のみならず、文理横断的な幅広い教養・視野を修得している。	古生物学や地質学、古環境学、デジタル科学等の専門知識を身につけ、またそれらに関連する調査研究方法を修得している。	プレゼンテーションやディスカッション、フィールドワークを通して自身の理解を分かりやすく正確に伝えることができ、他者とコミュニケーションを取り協働することができる。	迅速に発展するグローバル社会やデジタル社会に適応し、外国語やデジタル技術を地球科学諸問題の課題に適切に活用することができる。	地球科学分野の中でも恐竜を含む古生物学・地質学において自ら問題意識をもち、研究に取り組むことができる。
I 英語	英語A	1前	講義	2	○			○	
	英語B	1前	講義	2	○			○	
	英語C	1後	講義	2	○			○	
	英語D	1後	講義	2	○			○	
II 情報	ICTリテラシー	1前・後	演習	2	○		○	○	
	データサイエンス基礎	1前・後	演習	2	○		○	○	
	情報科学	1後	講義	2	○			○	
I キャリア	キャリア形成論	1前	講義	2	○				
II 英語	英語発展IA	1前	講義	2	○			○	
	英語発展IB	1後	講義	2	○			○	
	英語発展IIA	1前	講義	2	○			○	
	英語発展IIB	1後	講義	2	○			○	
	英語発展IIIA	1前	講義	2	○			○	
	英語発展IIIB	1後	講義	2	○			○	
	英語発展IVA	1前	講義	2	○			○	
	英語発展IVB	1後	講義	2	○			○	
	英語発展VA	1前	講義	2	○			○	
	英語発展VB	1後	講義	2	○			○	
	英語発展VIA	1前	講義	2	○			○	
	英語発展VIB	1後	講義	2	○			○	
III 情報	データサイエンス応用	1後	演習	2	○		○	○	
	プログラミング基礎	1前	演習	2	○		○	○	
	プログラミング応用	1後	演習	2	○		○	○	
	メディア情報リテラシー	1後	演習	2	○		○	○	
	情報処理演習 (AI)	1後	演習	2	○		○	○	
	情報処理演習 (CG)	1前	演習	2	○		○	○	
	情報処理演習 (Web開発)	1前	演習	2	○		○	○	
	情報活用プロジェクト演習	1前	演習	2	○		○	○	
	情報技術者 (国家試験 I)	1前	講義	2	○			○	

	情報技術者（国家試験Ⅱ）	1後	講義	2	○			○	
	情報技術者（民間資格）	1後	演習	2	○			○	
一般 教育 科目	IV 人 文 科 学	哲学	1前・後	講義	2	○			
		倫理学	1前・後	講義	2	○			
		西洋思想	1前・後	講義	2	○			
		東洋思想	1前・後	講義	2	○			
		東洋史	1前・後	講義	2	○			
		東洋の世界	1前・後	講義	2	○			
		宗教学	1前	講義	2	○			
		西洋史	1前・後	講義	2	○			
		神話学	1前・後	講義	2	○			
		歴史学	1前・後	講義	2	○			
		言語学	1後	講義	2	○			
		心理学	1前・後	講義	2	○			
		臨床心理学概論	1後	講義	2	○			
		社会学	1前・後	講義	2	○			
		ジェンダー論	1前・後	講義	2	○			
		現代家族論	1前・後	講義	2	○			
		地理学	1後	講義	2	○			
		地誌学	1前	講義	2	○			
		言語文化（中国）A	1前	講義	2	○			
		言語文化（中国）B	1後	講義	2	○			
		言語文化（韓国朝鮮）A	1前	講義	2	○			
言語文化（韓国朝鮮）B	1後	講義	2	○					
東アジアの文化と社会	1後	講義	2	○					
V 社 会 科 学	政治学	1後	講義	2	○				
	経済学	1前	講義	2	○				
	経営学	1前	講義	2	○				
	法学	1前・後	講義	2	○				
	日本国憲法	1前・後	講義	2	○				
	国際社会と法	1前・後	講義	2	○				
現代人権論	1後	講義	2	○					
VI 健 康 科 学	体育実技Ⅰ	1前・後	実験・実習	1	○				
	体育実技Ⅱ	1前・後	実験・実習	1	○				
	体育実技Ⅲ	1前	実験・実習	1	○				
	スポーツ科学	1前	講義	2	○				
	運動処方論	1後	講義	2	○				
	解析学	1後	講義	2	○				
	代数学	1前	講義	2	○				
	統計学基礎	1後	講義	2	○				

VII 自然 科学	数学基礎	1前・後	講義	2	○				
	物理学Ⅰ	1前	講義	2	○				
	物理学Ⅱ	1後	講義	2	○				
	脊椎動物の進化	1前	講義	2		○			
	地球史入門	1前	講義	2		○			
	地球環境学概論	1後	講義	2		○			
	バイオサイエンス基礎	1後	講義	2	○				
VIII 地域	福井を学ぶ	1前	講義	2	○				
	海と暮らし	1後	講義	2	○				
	恐竜学	1前	講義	2		○			
	暮らしを支える生物資源	1前	講義	2	○				
	水産増養殖学概論	1前	講義	2	○				
IX 第2 外国 語	中国語A	1前	講義	4	○			○	
	中国語B	1後	講義	4	○			○	
	中国語C	1前	講義	2	○			○	
	中国語D	1後	講義	2	○			○	
	韓国朝鮮語A	1前	講義	4	○			○	
	韓国朝鮮語B	1後	講義	4	○			○	
X 導入教育	導入ゼミナール	1前	演習	2	○		○		
	教養ゼミナール	1後	演習	2	○		○		
教職課程 の 設置 により 開設 する 科目	教育原理	1・2・3後	講義	2	○				
	教育史	1・2・3・4後	講義	2	○				
	教師論	1・2・3前	講義	2	○				
	教育制度論	1・2・3・4前	講義	2	○				
	教育社会学	1・2・3・4前	講義	2	○				
	教育心理学	1・2・3前	講義	2	○				
	発達心理学	1・2・3・4後	講義	2	○				
	特別支援教育	1・2・3・4後	講義	2	○				
	特別活動及び総合的な探究の時間の指導法	1・2・3・4前	講義	2	○				
	教育方法論（情報通信技術の活用含む）	1・2・3・4前	講義	2	○				
	生徒・進路指導論	1・2・3・4後	講義	2	○				
	教育相談	1・2・3・4後	講義	2	○				
	教育実習	4前	実験・実習	3	○		○		
	教職実践演習	4後	演習	2	○		○		
	道徳教育の理論と実践	1・2・3後	講義	2	○				
	理科教育法Ⅰ	1・2・3前	講義	2	○				
	理科教育法Ⅱ	1・2・3・4後	講義	2	○				
学校インターンシップA	1前	実験・実習	1	○		○			
学校インターンシップB	1後	実験・実習	1	○		○			
化学Ⅰ	1前	講義	2						
生物学Ⅰ	1前	講義	2						
	地球科学フィールド実習Ⅰ	1前	実験・実習	2		○	○		

専門基礎科目	生物学序論	1前	講義	2		○			
	地学概論	1前	講義	2		○			
	古生物学概論	1後	講義	2		○			
	地層学	1後	講義	2		○			
	海洋生物学	1後	講義	2		○			
	植物生態学	2前	講義	2		○			
	地球年代学	2後	講義	2		○			
	科学英語	2前	講義	2		○		○	
	進化生物学	2前	講義	2		○			
	地球化学序論	2前	講義	2		○			
	古生物学 I (脊椎動物)	2前	講義	2		○			
	日本列島形成史	2前	講義	2		○			
	地質調査法実習 I	2前	実験・実習	2		○	○		
	地質図学演習	2前	演習	2		○	○		
	地球科学フィールド実習 II	2前	実験・実習	2		○	○		
	古生物学実習 I	2前	実験・実習	2		○	○		
	地球科学基礎実験	2前	実験・実習	1		○	○		
	古生物学実験	2後	実験・実習	2		○	○		
	デジタル古生物学概論	2後	講義	2		○		○	
	デジタル古生物学研究法実習	2後	実験・実習	2		○	○	○	
地球環境変動学	2後	講義	2		○				
地球化学	2後	講義	2		○				
海洋底地球科学	2後	講義	2		○				
地球科学フィールド研究	3前	演習	4		○	○			
卒業演習 I	4前	演習	2		○	○		○	
卒業演習 II	4後	演習	2		○	○		○	
卒業研究	4通	演習	8		○	○		○	
専門教育科目	恐竜・古生物コース 必修科目	古生物地理学	3前	講義	2		○		
		古生物データサイエンス学	3前	講義	2		○		○
		古生物多様性学	3前	講義	2		○		
		古生物学実習 II	3前	実験・実習	2		○	○	
		古生物学 II (微古生物)	3後	講義	2		○		
		古生物学課題演習	3後	演習	2		○	○	
地質・古環境コース 必修科目	地質調査法実習 II	3前	実験・実習	2		○	○		
	地球化学実験	3前	実験・実習	2		○	○		
	海洋地球科学実習	3前	実験・実習	2		○	○		
	災害・防災学 I	3後	講義	2		○			
	災害・防災学 II	4前	講義	2		○			
地質学課題演習	3後	演習	2		○	○		○	

専門応用科目	両コース選択必修科目	岩石・鉱物学	2前	講義	2		○			
		恐竜発掘実習	3後	実験・実習	2		○	○	○	
		地球物理学	2後	講義	2		○			
		恐竜学特論	2後	講義	2		○			
		ジオパーク学	2前	講義	2		○			
		コンピュータグラフィック概論	3前	講義	2		○			
		古植物学	3後	講義	2		○			
		古生物学Ⅲ（無脊椎動物）	3後	講義	2		○			
		応用地質学	3後	講義	2		○			
	GIS・リモートセンシング学	3後	講義	2		○			○	
	学芸員課程科目	博物館概論	2前	講義	2	○				
		博物館経営論	2前	講義	2	○				
		博物館教育論	2前	講義	2	○				
		博物館展示論	2後	講義	2	○				
		博物館情報・メディア論	2後	講義	2	○				
		博物館資料論	3前	講義	2	○				
		博物館資料保存論	3前	講義	2	○				
		生涯学習概論	3後	講義	2	○				
		博物館実習	4後	実験・実習	3	○		○		

ディプロマポリシーと授業科目の相関

補正前

科目区分	授業科目の名称	配当年次	講義形態	単位数	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
					地球科学をはじめとする自然科学分野のみならず、文理横断的な幅広い教養・視野を修得している。	古生物学や地質学、古環境学、デジタル科学等の専門知識を身につけ、またそれらに関連する調査研究方法を修得している。	プレゼンテーションやディスカッション、フィールドワークを通して自身の理解を分かりやすく正確に伝えることができ、他者とコミュニケーションを取り協働することができる。	迅速に発展するグローバル社会やデジタル社会に適応し、外国語やデジタル技術を地球科学諸問題の課題に適切に活用することができる。	地球科学分野の中でも恐竜を含む古生物学・地質学において自ら問題意識をもち、研究に取り組むことができる。
I 英語	英語A	1前	講義	2	○			○	
	英語B	1前	講義	2	○			○	
	英語C	1後	講義	2	○			○	
	英語D	1後	講義	2	○			○	
II 情報	ICTリテラシー	1前・後	演習	2	○		○	○	
	データサイエンス基礎	1前・後	演習	2	○		○	○	
	情報科学	1後	講義	2	○			○	
I キャリア	キャリア形成論	1前	講義	2	○				
II 英語	英語発展 IA	1前	講義	2	○			○	
	英語発展 IB	1後	講義	2	○			○	
	英語発展 IIA	1前	講義	2	○			○	
	英語発展 IIB	1後	講義	2	○			○	
	英語発展 IIIA	1前	講義	2	○			○	
	英語発展 IIIB	1後	講義	2	○			○	
	英語発展 IVA	1前	講義	2	○			○	
	英語発展 IVB	1後	講義	2	○			○	
	英語発展 VA	1前	講義	2	○			○	
	英語発展 V B	1後	講義	2	○			○	
	英語発展 VIA	1前	講義	2	○			○	
	英語発展 VIB	1後	講義	2	○			○	
III 情報	データサイエンス応用	1後	演習	2	○		○	○	
	プログラミング基礎	1前	演習	2	○		○	○	
	プログラミング応用	1後	演習	2	○		○	○	
	メディア情報リテラシー	1後	演習	2	○		○	○	
	情報処理演習 (AI)	1後	演習	2	○		○	○	
	情報処理演習 (CG)	1前	演習	2	○		○	○	
	情報処理演習 (Web開発)	1前	演習	2	○		○	○	
	情報活用プロジェクト演習	1前	演習	2	○		○	○	
	情報技術者 (国家試験 I)	1前	講義	2	○			○	

	情報技術者（国家試験Ⅱ）	1後	講義	2	○			○	
	情報技術者（民間資格）	1後	演習	2	○			○	
一般 教育 科目	IV 人 文 科 学	哲学	1前・後	講義	2	○			
		倫理学	1前・後	講義	2	○			
		西洋思想	1前・後	講義	2	○			
		東洋思想	1前・後	講義	2	○			
		東洋史	1前・後	講義	2	○			
		東洋の世界	1前・後	講義	2	○			
		宗教学	1前	講義	2	○			
		西洋史	1前・後	講義	2	○			
		神話学	1前・後	講義	2	○			
		歴史学	1前・後	講義	2	○			
		言語学	1後	講義	2	○			
		心理学	1前・後	講義	2	○			
		臨床心理学概論	1後	講義	2	○			
		社会学	1前・後	講義	2	○			
		ジェンダー論	1前・後	講義	2	○			
		現代家族論	1前・後	講義	2	○			
		地理学	1後	講義	2	○			
		地誌学	1前	講義	2	○			
		言語文化（中国）A	1前	講義	2	○			
		言語文化（中国）B	1後	講義	2	○			
		言語文化（韓国朝鮮）A	1前	講義	2	○			
言語文化（韓国朝鮮）B	1後	講義	2	○					
東アジアの文化と社会	1後	講義	2	○					
V 社 会 科 学	政治学	1後	講義	2	○				
	経済学	1前	講義	2	○				
	経営学	1前	講義	2	○				
	法学	1前・後	講義	2	○				
	日本国憲法	1前・後	講義	2	○				
	国際社会と法	1前・後	講義	2	○				
現代人権論	1後	講義	2	○					
VI 健 康 科 学	体育実技Ⅰ	1前・後	実験・実習	1	○				
	体育実技Ⅱ	1前・後	実験・実習	1	○				
	体育実技Ⅲ	1前	実験・実習	1	○				
	スポーツ科学	1前	講義	2	○				
	運動処方論	1後	講義	2	○				
	解析学	1後	講義	2	○				
	代数学	1前	講義	2	○				
	統計学基礎	1後	講義	2	○				

VII 自然 科学	数学基礎	1前・後	講義	2	○				
	物理学Ⅰ	1前	講義	2	○				
	物理学Ⅱ	1後	講義	2	○				
	脊椎動物の進化	1前	講義	2		○			
	地球史入門	1前	講義	2		○			
	地球環境学概論	1後	講義	2		○			
	バイオサイエンス基礎	1後	講義	2	○				
VIII 地域	福井を学ぶ	1前	講義	2	○				
	海と暮らし	1後	講義	2	○				
	恐竜学	1前	講義	2		○			
	暮らしを支える生物資源	1前	講義	2	○				
	水産増養殖学概論	1前	講義	2	○				
IX 第2 外国 語	中国語A	1前	講義	4	○			○	
	中国語B	1後	講義	4	○			○	
	中国語C	1前	講義	2	○			○	
	中国語D	1後	講義	2	○			○	
	韓国朝鮮語A	1前	講義	4	○			○	
	韓国朝鮮語B	1後	講義	4	○			○	
X 導入教育	導入ゼミナール	1前	演習	2	○		○		
	教養ゼミナール	1後	演習	2	○		○		
教職課程 の 設置 により 開設 する 科目	教育原理	1・2・3後	講義	2	○				
	教育史	1・2・3・4後	講義	2	○				
	教師論	1・2・3前	講義	2	○				
	教育制度論	1・2・3・4前	講義	2	○				
	教育社会学	1・2・3・4前	講義	2	○				
	教育心理学	1・2・3前	講義	2	○				
	発達心理学	1・2・3・4後	講義	2	○				
	特別支援教育	1・2・3・4後	講義	2	○				
	特別活動及び総合的な探究の時間の指導法	1・2・3・4前	講義	2	○				
	教育方法論（情報通信技術の活用含む）	1・2・3・4前	講義	2	○				
	生徒・進路指導論	1・2・3・4後	講義	2	○				
	教育相談	1・2・3・4後	講義	2	○				
	教育実習	4前	実験・実習	3	○		○		
	教職実践演習	4後	演習	2	○		○		
	道徳教育の理論と実践	1・2・3後	講義	2	○				
	理科教育法Ⅰ	1・2・3前	講義	2	○				
	理科教育法Ⅱ	1・2・3・4後	講義	2	○				
	学校インターンシップA	1前	実験・実習	1	○		○		
	学校インターンシップB	1後	実験・実習	1	○		○		
化学Ⅰ	1前	講義	2						
生物学Ⅰ	1前	講義	2						
	地球科学フィールド実習Ⅰ	1前	実験・実習	2		○	○		

専門教育科目	専門基礎科目	生物学序論	1前	講義	2		○			
		地学概論	1前	講義	2		○			
		古生物学概論	1後	講義	2		○			
		地層学	1後	講義	2		○			
		海洋生物学	1後	講義	2		○			
		植物生態学	2前	講義	2		○			
		地球年代学	2後	講義	2		○			
		科学英語	2前	講義	2		○		○	
		進化生物学	2前	講義	2		○			
		地球化学序論	2前	講義	2		○			
		古生物学 I (脊椎動物)	2前	講義	2		○			
		日本列島形成史	2前	講義	2		○			
		地質調査法実習 I	2前	実験・実習	2		○	○		
		地質図学演習	2前	演習	2		○	○		
		地球科学フィールド実習 II	2前	実験・実習	2		○	○		
		古生物学実習 I	2前	実験・実習	2		○	○		
		地球科学基礎実験	2前	実験・実習	1		○	○		
		古生物学実験	2後	実験・実習	2		○	○		
		デジタル古生物学概論	2後	講義	2		○		○	
		デジタル古生物学研究法実習	2後	実験・実習	2		○	○	○	
地球環境変動学	2後	講義	2		○					
地球化学	2後	講義	2		○					
海洋底地球科学	2後	講義	2		○					
地球科学フィールド研究	3前	演習	4		○	○				
卒業演習 I	4前	演習	2		○	○		○		
卒業演習 II	4後	演習	2		○	○		○		
卒業研究	4通	演習	8		○	○		○		
専門教育科目	恐竜・古生物コース 必修科目	古生物地理学	3前	講義	2		○			
		古生物データサイエンス学	3前	講義	2		○		○	
		古生物多様性学	3前	講義	2		○			
		古生物学実習 II	3前	実験・実習	2		○	○		
		古生物学 II (微古生物)	3後	講義	2		○			
		古生物学課題演習	3後	演習	2		○	○		○
専門教育科目	地質・古環境コース 必修科目	地質調査法実習 II	3前	実験・実習	2		○	○		
		地球化学実験	3前	実験・実習	2		○	○		
		海洋地球科学実習	3前	実験・実習	2		○	○		
		災害・防災学	3後	講義	2		○			
		地質学課題演習	3後	演習	2		○			○

専門応用科目	両コース選択必修科目	岩石・鉱物学	2前	講義	2		○			
		恐竜発掘実習	3後	実験・実習	2		○	○	○	
		地球物理学	2後	講義	2		○			
		恐竜学特論	2後	講義	2		○			
		ジオパーク学	2前	講義	2		○			
		コンピュータグラフィック概論	3前	講義	2		○			○
		古植物学	3後	講義	2		○			○
		古生物学Ⅲ（無脊椎動物）	3後	講義	2		○			○
		応用地質学	3後	講義	2		○			○
	学芸員課程科目	博物館概論	2前	講義	2	○				
		博物館経営論	2前	講義	2	○				
		博物館教育論	2前	講義	2	○				
		博物館展示論	2後	講義	2	○				
		博物館情報・メディア論	2後	講義	2	○				
		博物館資料論	3前	講義	2	○				
		博物館資料保存論	3前	講義	2	○				
		生涯学習概論	3後	講義	2	○				
博物館実習	4後	実験・実習	3	○		○				

恐竜学部 恐竜・地質学科 履修モデル【恐竜・古生物コース】

科目区分		1年前期	1年後期	2年前期	2年後期	3年前期	3年後期	4年前期	4年後期
一般 教育 科目	I 英語	英語A 英語B	英語C 英語D						
	II 情報	データサイエンス基礎	情報科学						
	I キャリア	キャリア形成論							
	II 英語					英語発展II A			
	III 情報								
	IV 人文科学		哲学 倫理学 ジェンダー論						
	V 社会科学		政治学 現代人権論						
	VI 健康科学	体育実技 I							
	VII 自然科学	数学基礎 物理学 I	統計学基礎						
	VIII 地域	福井を学ぶ							
IX 第2外国語									
X 導入教育		導入ゼミナール							
専門 教育 科目	専門 基礎 科目	地球科学フィールド実習 I	古生物学概論	地球科学基礎実験	古生物学実験	地球科学フィールド研究		卒業演習 I	卒業演習 II
		生物学序論	地層学	植物生態学	デジタル古生物学概論		卒業研究	卒業研究	
		地学概論	海洋生物学	科学英語	デジタル古生物学研究法実習				
				進化生物学	地球環境変動学				
				地球化学序論	地球化学				
				古生物学 I (脊椎動物)	海洋底地球科学				
				日本列島形成史	地球年代学				
				地質調査法実習 I					
				地質図学演習					
				地球科学フィールド実習 II					
		古生物学実習 I							
専門 応用 科目	恐竜・古生物コース 必修科目					古生物地理学 古生物データサイエンス学 古生物多様性学 古生物学実習 II	古生物学 II (微古生物) 古生物学課題演習		
	地質・古環境コース 必修科目								
	両コース選択必修 科目				恐竜学特論	コンピュータグラフィック概論	恐竜発掘実習 古植物学 GIS・リモートセンシング学 応用地質学		
	学芸員課程科目								
単位数:		23	24	21	16	16	12	6	6

【卒業要件・履修方法】以下に掲げる基準を満たし、合計124単位以上修得すること。

<一般教育科目>以下の基準を満たした上で、合計28単位以上修得すること。

- ・必修科目:12単位修得すること。
- ・選択必修科目:IV群・V群から10単位(主に文系科目)、VII群から6単位以上(主に理系科目)修得すること。

<専門教育科目>

- ・専門基礎科目:63単位修得すること。
- ・専門応用科目:
 - ▶ 恐竜・古生物コースの場合、恐竜・古生物コース必修科目12単位および両コース選択必修科目12単位を含めた合計24単位以上修得すること。
 - ▶ 地質・古環境コースの場合、地質・古環境コース必修科目12単位および両コース選択必修科目12単位を含めた合計24単位以上修得すること。

<一般教育科目、専門教育科目を問わず>

- ▶ 恐竜・古生物コースの場合、9単位以上修得すること。
- ▶ 地質・古環境コースの場合、9単位以上修得すること。

(履修科目の登録の上限49単位(年間))

単
位
数

37

63

12

12

0

6 124

恐竜学部 恐竜・地質学科 履修モデル【地質・古環境コース】

科目区分		1年前期	1年後期	2年前期	2年後期	3年前期	3年後期	4年前期	4年後期	単位数
一般 教育 科目	I 英語	英語A 英語B	英語C 英語D							
	II 情報	データサイエンス基礎	情報科学							
	I キャリア	キャリア形成論								
	II 英語					英語発展ⅡA	英語発展ⅡB			
	III 情報									
	IV 人文科学		哲学 倫理学 ジェンダー論							
	V 社会科学		政治学 現代人権論							
	VI 健康科学	体育実技Ⅰ								
	VII 自然科学	数学基礎 物理学Ⅰ	統計学基礎							
	VIII 地域	福井を学ぶ								
IX 第2外国語										
X 導入教育		導入ゼミナール								
専門 教育 科目	専門 基礎 科目	地球科学フィールド実習Ⅰ	古生物学概論	地球科学基礎実験	古生物学実験	地球科学フィールド研究		卒業演習Ⅰ	卒業演習Ⅱ	
		生物学序論	地層学	植物生態学	デジタル古生物学概論		卒業研究	卒業研究		
		地学概論	海洋生物学	科学英語	デジタル古生物学研究法実習					
				進化生物学	地球環境変動学					
			地球化学序論	地球化学						
		古生物学Ⅰ(脊椎動物)	海洋底地球科学							
		日本列島形成史	地球年代学							
		地質調査法実習Ⅰ								
		地質図学演習								
		地球科学フィールド実習Ⅱ								
		古生物学実習Ⅰ								
	恐竜・古生物コース 必修科目									
	地質・古環境コース 必修科目					地質調査法実習Ⅱ	災害・防災学Ⅰ 地質学課題演習	災害・防災学Ⅱ		
	両コース選択必修 科目			岩石・鉱物学		地球化学実験 海洋地球科学実習 コンピュータグラフィック概論	恐竜発掘実習 応用地質学 GIS・リモートセンシング学			
	学芸員課程科目									
単位数:		23	24	23	14	14	12	8	6	124

【卒業要件・履修方法】以下に掲げる基準を満たし、合計124単位以上修得すること。

<一般教育科目>以下の基準を満たした上で、合計28単位以上修得すること。

- ・必修科目:12単位修得すること。
- ・選択必修科目:Ⅳ群・Ⅴ群から10単位(主に文系科目)、Ⅶ群から6単位以上(主に理系科目)修得すること。

<専門教育科目>

- ・専門基礎科目:63単位修得すること。
- ・専門応用科目:
 - ▶ 恐竜・古生物コースの場合、恐竜・古生物コース必修科目12単位および両コース選択必修科目12単位を含めた合計24単位以上修得すること。
 - ▶ 地質・古環境コースの場合、地質・古環境コース必修科目12単位および両コース選択必修科目12単位を含めた合計24単位以上修得すること。

<一般教育科目、専門教育科目を問わず>

- ▶ 恐竜・古生物コースの場合、9単位以上修得すること。
- ▶ 地質・古環境コースの場合、9単位以上修得すること。

(履修科目の登録の上限49単位(年間))

単
位
数

39

63

10

10

0

恐竜学部 恐竜・地質学科 履修モデル【恐竜・古生物コース】

補正前

科目区分		1年前期	1年後期	2年前期	2年後期	3年前期	3年後期	4年前期	4年後期	単位数
一般 教育 科目	I 英語	英語A 英語B	英語C 英語D							
	II 情報	データサイエンス基礎	情報科学							
	I キャリア	キャリア形成論								
	II 英語					英語発展 II A				
	III 情報									
	IV 人文科学		哲学 倫理学 ジェンダー論							
	V 社会科学		政治学 現代人権論							
	VI 健康科学	体育実技 I								
	VII 自然科学	数学基礎 物理学 I	統計学基礎							
	VIII 地域	福井を学ぶ								
IX 第2外国語										
X 導入教育		導入ゼミナール								
専門 教育 科目	専門 基礎 科目	地球科学フィールド実習 I	古生物学概論	地球科学基礎実験	古生物学実験	地球科学フィールド研究		卒業演習 I	卒業演習 II	
		生物学序論	地層学	植物生態学	デジタル古生物学概論		卒業研究	卒業研究		
		地学概論	海洋生物学	科学英語	デジタル古生物学研究法実習					
				進化生物学	地球環境変動学					
				地球化学序論	地球化学					
				古生物学 I (脊椎動物)	海洋底地球科学					
				日本列島形成史	地球年代学					
				地質調査法実習 I						
				地質図学演習						
				地球科学フィールド実習 II						
		古生物学実習 I								
専門 応用 科目	恐竜・古生物コース 必修科目					古生物地理学 古生物データサイエンス学 古生物多様性学 古生物学実習 II	古生物学 II (微古生物) 古生物学課題演習			
	地質・古環境コース 必修科目									
	両コース選択必修 科目				恐竜学特論	コンピュータグラフィック概論	恐竜発掘実習 古植物学 古生物学 III (無脊椎動物) 応用地質学			
	学芸員課程科目									
単位数:		23	24	21	16	16	12	6	6	124

【卒業要件・履修方法】以下に掲げる基準を満たし、合計124単位以上修得すること。

<一般教育科目>以下の基準を満たした上で、合計28単位以上修得すること。

- ・必修科目:12単位修得すること。
- ・選択必修科目:IV群・V群から10単位(主に文系科目)、VII群から6単位以上(主に理系科目)修得すること。

<専門教育科目>

- ・専門基礎科目:63単位修得すること。
- ・専門応用科目:
 - ▶ 恐竜・古生物コースの場合、恐竜・古生物コース必修科目12単位および両コース選択必修科目12単位を含めた合計24単位以上修得すること。
 - ▶ 地質・古環境コースの場合、地質・古環境コース必修科目10単位および両コース選択必修科目12単位を含めた合計22単位以上修得すること。

<一般教育科目、専門教育科目を問わず>

- ▶ 恐竜・古生物コースの場合、9単位以上修得すること。
- ▶ 地質・古環境コースの場合、11単位以上修得すること。

(履修科目の登録の上限49単位(年間))

単
位
数

37

63

12

12

0

恐竜学部 恐竜・地質学科 履修モデル【地質・古環境コース】

科目区分		1年前期	1年後期	2年前期	2年後期	3年前期	3年後期	4年前期	4年後期	単位数
一般 教育 科目	I 英語	英語A 英語B	英語C 英語D							
	II 情報	データサイエンス基礎	情報科学							
	I キャリア	キャリア形成論								
	II 英語					英語発展ⅡA	英語発展ⅡB			
	III 情報									
	IV 人文科学		哲学 倫理学 ジェンダー論							
	V 社会科学		政治学 現代人権論							
	VI 健康科学	体育実技Ⅰ								
	VII 自然科学	数学基礎 物理学Ⅰ	統計学基礎							
	VIII 地域	福井を学ぶ								
IX 第2外国語 X 導入教育		導入ゼミナール								
専門 教育 科目	専門 基礎 科目	地球科学フィールド実習Ⅰ	古生物学概論	地球科学基礎実験	古生物学実験	地球科学フィールド研究		卒業演習Ⅰ	卒業演習Ⅱ	
		生物学序論	地層学	植物生態学	デジタル古生物学概論		卒業研究	卒業研究		
		地学概論	海洋生物学	科学英語	デジタル古生物学研究法実習					
				進化生物学	地球環境変動学					
			地球化学序論	地球化学						
		古生物学Ⅰ(脊椎動物)	海洋底地球科学							
		日本列島形成史	地球年代学							
		地質調査法実習Ⅰ								
		地質図学演習								
		地球科学フィールド実習Ⅱ								
		古生物学実習Ⅰ								
	恐竜・古生物コース 必修科目									
	地質・古環境コース 必修科目					地質調査法実習Ⅱ	災害・防災学			
	両コース選択必修 科目			岩石・鉱物学	地球物理学	地球化学実験	地質学課題演習			
	学芸員課程科目					海洋地球科学実習	恐竜発掘実習			
						コンピュータグラフィック概論	応用地質学			
							古生物学Ⅲ(無脊椎動物)			
単位数:		23	24	23	16	14	12	6	6	124

【卒業要件・履修方法】以下に掲げる基準を満たし、合計124単位以上修得すること。

<一般教育科目>以下の基準を満たした上で、合計28単位以上修得すること。

- ・必修科目:12単位修得すること。
- ・選択必修科目:Ⅳ群・Ⅴ群から10単位(主に文系科目)、Ⅶ群から6単位以上(主に理系科目)修得すること。

<専門教育科目>

- ・専門基礎科目:63単位修得すること。
- ・専門応用科目:
 - ▶ 恐竜・古生物コースの場合、恐竜・古生物コース必修科目12単位および両コース選択必修科目12単位を含めた合計24単位以上修得すること。
 - ▶ 地質・古環境コースの場合、地質・古環境コース必修科目10単位および両コース選択必修科目12単位を含めた合計22単位以上修得すること。

<一般教育科目、専門教育科目を問わず>

- ▶ 恐竜・古生物コースの場合、9単位以上修得すること。
- ▶ 地質・古環境コースの場合、11単位以上修得すること。

(履修科目の登録の上限49単位(年間))

単
位
数

39

63

10

12

0

恐竜学部 時間割案(前期)

補正後

	1時限(9:00~10:30)				2時限(10:40~12:10)				3時限(13:00~14:30)				4時限(14:40~16:10)				5時限(16:20~17:50)									
	担当	授業科目名	担当教員	キャンパス	教室	担当	授業科目名	担当教員	キャンパス	教室	担当	授業科目名	担当教員	キャンパス	教室	担当	授業科目名	担当教員	キャンパス	教室						
月曜日	1	英語発展IA	長岡	永平寺	L113	1	英語A	長岡	永平寺	L113	1	導入ゼミナール	加藤ま	永平寺	L212	1	学校インターンシップA	黒田	永平寺	L103	1~3	理科教育法I	浅原、山田	永平寺	L207	
	1	英語発展IA	森	永平寺	L112	1	英語A	森	永平寺	L105	1	導入ゼミナール	亀田	永平寺	L211	2	博物館経営論	池上、辻野、一鳥	勝山	講義室1	4	卒業研究	西ほか19人	勝山	教員研究室	
	1	英語発展IA	デンマン	永平寺	L111	1	英語A	横田	永平寺	L104	1	導入ゼミナール	石原	永平寺	L213											
	1	英語発展IA	横田	永平寺	L103	1	英語A	渡邊	永平寺	L204	1	数学基礎	谷川	永平寺	L111											
	1	英語発展IA	渡邊綾	永平寺	L104	2	日本列島形成史	西、安藤	勝山	L106	1	中国語C	加藤錦	永平寺	L204											
1	地学概論	神谷、中村	永平寺	L105						2	植物生態学	大石	勝山	講義室1												
										3	古生物多様性学	高田	勝山	講義室2												
火曜日	1	化学I	片野	永平寺	L210	1	ICTリテラシー	徳野	永平寺	第1情報演習室	1	導入ゼミナール	渡邊浩	永平寺	L212	2	進化生物学	土屋、神谷、今井	勝山	講義室1	1~3	教育心理学	黒田	永平寺	L103	
	1	哲学	渡邊浩	永平寺	L105	1	ICTリテラシー	田中	永平寺	第2情報演習室	1	導入ゼミナール	松本	永平寺	L211	3	地質調査法実習II	山田ほか3人	勝山	地質調査室等						
	1	社会学	加藤ま	永平寺	L108						1	導入ゼミナール	根田	永平寺	L213											
	1	暮らしを支える生物資源	日井	永平寺	L109						1	物理学I	谷川	永平寺	L113											
	1	東洋思想	亀田	永平寺	L106						1	韓国朝鮮語A	李	永平寺	L103											
	1	歴史学	松本	永平寺	L205						1	生物学序論	大石、法木	永平寺	L104											
	1	脊椎動物の進化	河部、今井	永平寺	L206						2	古生物学I(脊椎動物)	河部ほか5人	勝山	講義室1											
	1	英語発展IIA	長岡	永平寺	L113						3	地質調査法実習II	山田ほか3人	勝山	地質調査室等											
	1	英語発展IIA	森	永平寺	L112																					
	1	体育実技I	石原	永平寺	体育館																					
	1	プログラミング基礎	徳野	永平寺	第2情報演習室																					
水曜日	1	倫理学	渡邊浩	永平寺	L204	1	英語B	長岡	永平寺	L113	1	キャリア形成論	森本	永平寺	L112	2	地質調査法実習I	山田、林、安藤	勝山	地質調査室等	1~4	教育社会学	寺町	永平寺	L209	
	1	日本国憲法	根田	永平寺	L108	1	英語B	森	永平寺	L105	2	地質調査法実習I	山田、林、安藤	勝山	地質調査室等	3	古生物学実習II	河部、法木	勝山	解剖室	4	卒業研究	西ほか19人	勝山	教員研究室	
	1	経営学	木野	永平寺	L205	1	英語B	デンマン	永平寺	L212	3	古生物学実習II	河部、法木	勝山	解剖室											
	1	福井を学ぶ	杉山	永平寺	L206	1	英語B	横田	永平寺	L104																
	1	西洋史	松本	永平寺	L207	1	英語B	渡邊綾	永平寺	L106																
	1	東洋の世界	亀田	永平寺	L105	4	卒業演習I	西ほか19人	勝山	教員研究室																
	1	英語発展III A	長岡	永平寺	L113																					
	1	英語発展III A	森	永平寺	L112																					
	1	情報処理演習(Web開発)	村田	永平寺	第1情報演習室																					
	1	体育実技II	石原	永平寺	体育館																					
木曜日	1	宗教学	小山田	永平寺	L204	1	データサイエンス基礎	田中	永平寺	第1情報演習室	1	西洋思想	渡邊浩	永平寺	L103	1	英語発展III A	デンマン	永平寺	L111	1~4	教育方法論(情報通信技術の活用含む)	木村	永平寺	L104	
	1	経済学	清水葉	永平寺	L205	1	データサイエンス基礎	徳野	永平寺	第2情報演習室	1	国際社会と法	根田	永平寺	L104	1	英語発展III A	横田	永平寺	L103						
	1	ジェンダー論	加藤ま	永平寺	L206	3	古生物データサイエンス学	藤田、木下、高田	勝山	講義室1	1	英語発展II A	デンマン	永平寺	L111	1	英語発展III A	渡邊綾	永平寺	L104						
	1	地球史入門	西	永平寺	L207	4	災害・防災学II	西山	勝山	講義室2	1	英語発展II A	横田	永平寺	L105	2	博物館概論	高津、中川	勝山	講義室1						
	1	地誌学	森嶋	永平寺	L105						1	英語発展II A	渡邊綾	永平寺	L106	3	地球化学実験	山田、中村、前田	勝山	実験演習室等						
	1	英語発展IV A	長岡	永平寺	L113						1	情報処理演習(CG)	村田	永平寺	第1情報演習室											
	1	英語発展IV A	森	永平寺	L112						2	科学英語	土屋、藤田、今井	勝山	講義室1											
	1	英語発展IV A	デンマン	永平寺	L111						3	地球化学実験	山田、中村、前田	勝山	実験演習室1等											
	1	英語発展IV A	横田	永平寺	L103																					
	1	英語発展IV A	渡邊綾	永平寺	L104																					
	1	情報活用プロジェクト演習	村田	永平寺	第1情報演習室																					
	2	地球化学序論	村山ほか4人	勝山	講義室1																					
	3	博物館資料保存論	鹿納、千秋	勝山	講義室2																					
金曜日	1	心理学	清水聡	永平寺	L204	1	言語文化(中国)A	加藤錦	永平寺	L105	1	中国語A	加藤錦	永平寺	L204	1	東洋史	亀田	永平寺	L103	1~3	教師論	國崎	永平寺	L103	
	1	法学	根田	永平寺	L205	1	ICTリテラシー	村田	永平寺	第1情報演習室	1	神話学	松本	永平寺	L205	1	韓国朝鮮語A	李	永平寺	L104						
	1	恐竜学	柴田、服部	永平寺	L206	1	データサイエンス基礎	谷川	永平寺	第2情報演習室	1	現代家族論	加藤ま	永平寺	L103	1	中国語A	加藤錦	永平寺	L204						
	1	代数学	田中	永平寺	L207	2	地質図学演習	山田、林、安藤	勝山	地質調査室等	1	言語文化(韓国朝鮮)A	李	永平寺	L105	1	英語発展VIA	デンマン	永平寺	L111						
	1	スポーツ科学	石原	永平寺	L105	3	古生物地理学	西、高田	勝山	講義室1	1	英語発展VIA	長岡	永平寺	L113	1	英語発展VIA	横田	永平寺	L105						
	1	水産増養殖学概論	末武	永平寺	L106						1	英語発展VIA	森	永平寺	L112	1	英語発展VIA	渡邊綾	永平寺	L106						
	1	英語発展VA	長岡	永平寺	L113						1	情報技術者(国家試験I)	徳野	永平寺	第1情報演習室	3	地球科学フィールド研究	西ほか17人	勝山	教員研究室						
	1	英語発展VA	森	永平寺	L112						3	地球科学フィールド研究	西ほか17人	勝山	教員研究室											
	1	英語発展VA	デンマン	永平寺	L111																					
	1	英語発展VA	横田	永平寺	L103																					
	1	英語発展VA	渡邊綾	永平寺	L104																					
	1	生物学I	加藤久	永平寺	L210																					
	2	地球科学基礎実験	村山、高田、中村	勝山	実験演習室1等																					
	集中講義	1~4	特別活動及び総合的な探究の時間の指導法	藤原	永平寺	L105																				
		1	体育実技III	石原	永平寺	体育館																				
		1~4	教育制度論	桐村	永平寺	L104																				
		1	地球科学フィールド実習I	柴田ほか3人	永平寺	共同実験室																				
2		地球科学フィールド実習II	林、神谷、安藤	勝山	岩石粉砕処理室等																					
2		古生物学実習I	柴田ほか3人	勝山	地学標本製作室等																					
2		岩石・鉱物学	高嶋	勝山	講義室2																					
2		ジオパーク学	町、Naksri	勝山	講義室1																					
2	博物館教育論	國崎	勝山	講義室2																						
3	海洋地球科学実習	神谷ほか3人	勝山	XRF分析室等																						
3	コンピュータグラフィック概論	鹿納ほか3人	勝山	情報処理演習室																						
3	博物館資料論	鹿納、小泉	勝山	講義室1																						
4	教育実習	國崎	永平寺	L107																						

恐竜学部 時間割案(後期)

	1時限(9:00~10:30)					2時限(10:40~12:10)					3時限(13:00~14:30)					4時限(14:40~16:10)					5時限(16:20~17:50)				
	配当	授業科目名	担当教員	キャンパス	教室	配当	授業科目名	担当教員	キャンパス	教室	配当	授業科目名	担当教員	キャンパス	教室	配当	授業科目名	担当教員	キャンパス	教室	配当	授業科目名	担当教員	キャンパス	教室
月曜日	1	英語発展IB	長岡	永平寺	L113	1	英語C	長岡	永平寺	L113	1	教養ゼミナール	加藤ま	永平寺	L212	1~4	発達心理学	乙部	永平寺	L105	1~4	理科教育法II	浅原、山田	永平寺	L207
	1	英語発展IB	森	永平寺	L112	1	英語C	森	永平寺	L105	1	教養ゼミナール	亀田	永平寺	L211	2	デジタル古生物学研究法実習	河部、鹿納、法木	勝山	大型CT室等	4	卒業研究	西ほか19人	勝山	教員研究室
	1	英語発展IB	デンマン	永平寺	L111	1	英語C	横田	永平寺	L104	1	教養ゼミナール	石原	永平寺	L213										
	1	英語発展IB	横田	永平寺	L103	1	英語C	渡邊	永平寺	L106	1	中国語D	加藤錦	永平寺	L204										
	1	英語発展IB	渡邊綾	永平寺	L104	2	デジタル古生物学概論	河部、鹿納、法木	勝山	講義室2	1	統計学基礎	田中	永平寺	L103										
	2	古生物学概論	高田、安藤	永平寺	L105						1	地層学	西、安藤	永平寺	L207										
火曜日	1	哲学	渡邊浩	永平寺	L105	1	ICTリテラシー	徳野	永平寺	第1情報演習室	1	教養ゼミナール	渡邊浩	永平寺	L212	2	古生物学実験	神谷、藤田	勝山	実験演習室1等	1~4	特別支援教育	清水	永平寺	L104
	1	社会学	加藤ま	永平寺	L108	1	ICTリテラシー	田中	永平寺	第2情報演習室	1	教養ゼミナール	松本	永平寺	L211	4	教職実践演習	黒田・國崎	永平寺	L106	4	卒業研究	西ほか19人	勝山	教員研究室
	1	東洋思想	亀田	永平寺	L106	1	情報科学	村田	永平寺	L111	1	教養ゼミナール	根田	永平寺	L213										
	1	歴史学	松本	永平寺	L205						1	韓国朝鮮語B	李	永平寺	L103										
	1	英語発展IB	長岡	永平寺	L113						1	数学基礎	谷川	永平寺	L104										
	1	英語発展IB	森	永平寺	L112						1	海洋生物学	土屋	永平寺	L207										
	1	英語発展IB	デンマン	永平寺	L111						2	古生物学実験	神谷、藤田	勝山	実験演習室1等										
	1	英語発展IB	横田	永平寺	L103																				
	1	英語発展IB	渡邊綾	永平寺	L104																				
	1	メディア情報リテラシー	徳野	永平寺	第1情報演習室																				
	1	体育実技I	石原	永平寺	体育館																				
水曜日	1	倫理学	渡邊浩	永平寺	L204	1	英語D	長岡	永平寺	L113	1~4	教育相談	黒田	永平寺	L103	1~4	生徒・進路指導論	黒田、塚田、山田	永平寺	L106	1~3	道德教育の理論と実践	國崎	永平寺	L103
	1	西洋史	松本	永平寺	L207	1	英語D	森	永平寺	L105	3	古生物学課題演習	西ほか10人	勝山	教員研究室										
	1	臨床心理学概論	黒田	永平寺	L105	1	英語D	デンマン	永平寺	L212	3	地質学課題演習	神谷ほか8人	勝山	教員研究室										
	1	英語発展III	長岡	永平寺	L113	1	英語D	横田	永平寺	L104															
	1	英語発展III	森	永平寺	L112	1	英語D	渡邊綾	永平寺	L106															
	1	体育実技II	石原	永平寺	体育館	4	卒業演習II	西ほか19人	勝山	教員研究室															
	1	政治学	永田	永平寺	L205																				
	1	現代人権論	根田	永平寺	L206																				
1	解析学	田中	永平寺	第2情報演習室																					
木曜日	1	ジェンダー論	加藤ま	永平寺	L206	1	データサイエンス基礎	田中	永平寺	第1情報演習室	1	西洋思想	渡邊浩	永平寺	L103	1	学校インターンシップB	國崎	永平寺	L103	1~4	教育史	國崎	永平寺	L105
	1	東洋史	亀田	永平寺	L106	1	データサイエンス基礎	徳野	永平寺	第2情報演習室	1	国際社会と法	根田	永平寺	L104	1	地理学	石丸	永平寺	L103					
	1	日本国憲法	根田	永平寺	L105						1	プログラミング応用	村田	永平寺	第1情報演習室	1	運動処方論	石原	永平寺	L104					
	1	英語発展IV	長岡	永平寺	L113						1	英語発展III	デンマン	永平寺	L111	1	データサイエンス応用	谷川	永平寺	第2情報演習室					
	1	英語発展IV	森	永平寺	L112						1	英語発展III	横田	永平寺	L105	1	英語発展IV	デンマン	永平寺	L111					
	1	情報処理演習(AI)	徳野	永平寺	第1情報演習室						1	英語発展III	渡邊綾	永平寺	L106	1	英語発展IV	横田	永平寺	L105					
	1	バイオサイエンス基礎	伊藤	永平寺	L103						1	英語発展III	渡邊綾	永平寺	L106	2	地球環境変動学	藤田	勝山	講義室1					
金曜日	1	心理学	清水	永平寺	L204	1	言語文化(中国)B	加藤錦	永平寺	L105	1	中国語B	加藤錦	永平寺	L204	1	東洋の世界	亀田	永平寺	L105	1~3	教育原理	國崎	永平寺	L204
	1	法学	根田	永平寺	L205	1	言語学	森	永平寺	L103	1	神話学	松本	永平寺	L205	1	韓国朝鮮語B	李	永平寺	L104					
	1	英語発展VB	長岡	永平寺	L113	1	ICTリテラシー	村田	永平寺	第1情報演習室	1	現代家族論	加藤ま	永平寺	L103	1	中国語B	加藤錦	永平寺	L204					
	1	英語発展VB	森	永平寺	L112	1	データサイエンス基礎	谷川	永平寺	第2情報演習室	1	言語文化(韓国朝鮮)B	李	永平寺	L105	1	英語発展VIB	デンマン	永平寺	L111					
	1	英語発展VB	デンマン	永平寺	L111	1	情報科学	徳野	永平寺	L111	1	情報技術者(民間資格)	徳野	永平寺	第2情報演習室	1	英語発展VIB	横田	永平寺	L206					
	1	英語発展VB	横田	永平寺	L103	2	海洋底地球科学	村山	勝山	講義室1	1	英語発展VIB	長岡	永平寺	L113	1	英語発展VIB	渡邊綾	永平寺	L205					
	1	英語発展VB	渡邊綾	永平寺	L104	3	災害・防災学I	後藤、菅原	勝山	講義室2	1	英語発展VIB	森	永平寺	L112	2	博物館展示論	鹿納、柴田、藤	勝山	講義室1					
	1	情報技術者(国家試験II)	徳野	永平寺	第1情報演習室						2	地球化学	中村、前田、静谷	勝山	講義室1	3	GIS・リモートセンシング学	長岡	勝山	情報処理演習室					
	1	物理学II	谷川	永平寺	L206						3	古生物学II(微古生物)	高田、西、木下	勝山	講義室2										
	1	海と暮らし	水田	永平寺	L105																				
1	東アジアの文化と社会	加藤錦	永平寺	L106																					
1	地球環境学概論	西、安藤	永平寺	L210																					
3	古植物学	中村ほか3人	勝山	講義室1																					
集中講義	2	地球物理学	山本	勝山	講義室1																				
	2	恐竜学特論	柴田ほか4人	勝山	講義室1																				
	2	博物館情報・メディア論	鹿納、千秋	勝山	情報処理演習室																				
	3	恐竜発掘実習	柴田、服部	勝山	海外(タイ)																				
3	古生物学III(無脊椎動物)	神谷ほか5人	勝山	講義室2																					
3	応用地質学	林、山岸、高野	勝山	講義室2																					
3	生涯学習概論	國崎	勝山	講義室2																					
4	博物館実習	柴田ほか3人	勝山	恐竜博物館																					

恐竜学部 時間割案(前期)

補正前

	1時限(9:00~10:30)				2時限(10:40~12:10)				3時限(13:00~14:30)				4時限(14:40~16:10)				5時限(16:20~17:50)								
	担当	授業科目名	担当教員	キャンパス	教室	担当	授業科目名	担当教員	キャンパス	教室	担当	授業科目名	担当教員	キャンパス	教室	担当	授業科目名	担当教員	キャンパス	教室					
月曜日	1	英語発展IA	長岡	永平寺	L113	1	英語A	長岡	永平寺	L113	1	導入ゼミナール	加藤ま	永平寺	L212	1	学校インターンシップA	黒田	永平寺	L103	1~3	理科教育法I	浅原、山田	永平寺	L207
	1	英語発展IA	森	永平寺	L112	1	英語A	森	永平寺	L105	1	導入ゼミナール	亀田	永平寺	L211	2	博物館経営論	鹿納、一島	勝山	講義室1	4	卒業研究	西ほか19人	勝山	教員研究室
	1	英語発展IA	デンマン	永平寺	L111	1	英語A	横田	永平寺	L104	1	導入ゼミナール	石原	永平寺	L213										
	1	英語発展IA	横田	永平寺	L103	1	英語A	渡邊	永平寺	L204	1	数学基礎	谷川	永平寺	L111										
	1	英語発展IA	渡邊綾	永平寺	L104	2	日本列島形成史	西、安藤	勝山	L106	1	中国語C	加藤錦	永平寺	L204										
	1	地学概論	神谷、中村	永平寺	L105						2	植物生態学	大石	勝山	講義室1										
火曜日	1	化学I	片野	永平寺	L210	1	ICTリテラシー	徳野	永平寺	第1情報演習室	1	導入ゼミナール	渡邊浩	永平寺	L212	2	進化生物学	土屋、神谷、今井	勝山	講義室1	1~3	教育心理学	黒田	永平寺	L103
	1	哲学	渡邊浩	永平寺	L105	1	ICTリテラシー	田中	永平寺	第2情報演習室	1	導入ゼミナール	松本	永平寺	L211	3	地質調査法実習II	山田ほか3人	勝山	地質調査室等					
	1	社会学	加藤ま	永平寺	L108						1	導入ゼミナール	根田	永平寺	L213										
	1	暮らしを支える生物資源	日井	永平寺	L109						1	物理学I	谷川	永平寺	L113										
	1	東洋思想	亀田	永平寺	L106						1	韓国朝鮮語A	李	永平寺	L103										
	1	歴史学	松本	永平寺	L205						1	生物学序論	大石、法木	永平寺	L104										
	1	脊椎動物の進化	河部、今井	永平寺	L206						2	古生物学I(脊椎動物)	河部ほか5人	勝山	講義室1										
	1	英語発展IIA	長岡	永平寺	L113						3	地質調査法実習II	山田ほか3人	勝山	地質調査室等										
	1	英語発展IIA	森	永平寺	L112																				
	1	体育実技I	石原	永平寺	体育館																				
	1	プログラミング基礎	徳野	永平寺	第2情報演習室																				
	水曜日	1	倫理学	渡邊浩	永平寺	L204	1	英語B	長岡	永平寺	L113	1	キャリア形成論	森本	永平寺	L112	2	地質調査法実習I	山田、林、安藤	勝山	地質調査室等	1~4	教育社会学	寺町	永平寺
1		日本国憲法	根田	永平寺	L108	1	英語B	森	永平寺	L105	2	地質調査法実習I	山田、林、安藤	勝山	地質調査室等	3	古生物学実習II	河部、法木	勝山	解剖室	4	卒業研究	西ほか19人	勝山	教員研究室
1		経営学	木野	永平寺	L205	1	英語B	デンマン	永平寺	L212	3	古生物学実習II	河部、法木	勝山	解剖室										
1		福井を学ぶ	杉山	永平寺	L206	1	英語B	横田	永平寺	L104															
1		西洋史	松本	永平寺	L207	1	英語B	渡邊綾	永平寺	L106															
1		東洋の世界	亀田	永平寺	L105	4	卒業演習I	西ほか19人	勝山	教員研究室															
1		英語発展III A	長岡	永平寺	L113																				
1		英語発展III A	森	永平寺	L112																				
1		情報処理演習(Web開発)	村田	永平寺	第1情報演習室																				
1		体育実技II	石原	永平寺	体育館																				
木曜日	1	宗教学	小山田	永平寺	L204	1	データサイエンス基礎	田中	永平寺	第1情報演習室	1	西洋思想	渡邊浩	永平寺	L103	1	英語発展III A	デンマン	永平寺	L111	1~4	教育方法論(情報通信技術の活用含む)	木村	永平寺	L104
	1	経済学	清水葉	永平寺	L205	1	データサイエンス基礎	徳野	永平寺	第2情報演習室	1	国際社会と法	根田	永平寺	L104	1	英語発展III A	横田	永平寺	L103					
	1	ジェンダー論	加藤ま	永平寺	L206	3	古生物データサイエンス学	藤田、木下、高田	勝山	講義室1	1	英語発展II A	デンマン	永平寺	L111	1	英語発展III A	渡邊綾	永平寺	L104					
	1	地球史入門	西	永平寺	L207						1	英語発展II A	横田	永平寺	L105	2	博物館概論	鹿納	勝山	講義室1					
	1	地誌学	森嶋	永平寺	L105						1	英語発展II A	渡邊綾	永平寺	L106	3	地球化学実験	山田、中村、前田	勝山	実験演習室等					
	1	英語発展IV A	長岡	永平寺	L113						1	情報処理演習(CG)	村田	永平寺	第1情報演習室										
	1	英語発展IV A	森	永平寺	L112						2	科学英語	土屋、藤田、今井	勝山	講義室1										
	1	英語発展IV A	デンマン	永平寺	L111						3	地球化学実験	山田、中村、前田	勝山	実験演習室1等										
	1	英語発展IV A	横田	永平寺	L103																				
	1	英語発展IV A	渡邊綾	永平寺	L104																				
	1	情報活用プロジェクト演習	村田	永平寺	第1情報演習室																				
	2	地球化学序論	村山ほか4人	勝山	講義室1																				
	3	博物館資料保存論	鹿納、千秋	勝山	講義室2																				
金曜日	1	心理学	清水聡	永平寺	L204	1	言語文化(中国)A	加藤錦	永平寺	L105	1	中国語A	加藤錦	永平寺	L204	1	東洋史	亀田	永平寺	L103	1~3	教師論	國崎	永平寺	L103
	1	法学	根田	永平寺	L205	1	ICTリテラシー	村田	永平寺	第1情報演習室	1	神話学	松本	永平寺	L205	1	韓国朝鮮語A	李	永平寺	L104					
	1	恐竜学	柴田、服部	永平寺	L206	1	データサイエンス基礎	谷川	永平寺	第2情報演習室	1	現代家族論	加藤ま	永平寺	L103	1	中国語A	加藤錦	永平寺	L204					
	1	代数学	田中	永平寺	L207	2	地質図学演習	山田、林、安藤	勝山	地質調査室等	1	言語文化(韓国朝鮮)A	李	永平寺	L105	1	英語発展VIA	デンマン	永平寺	L111					
	1	スポーツ科学	石原	永平寺	L105	3	古生物地理学	西、高田	勝山	講義室1	1	英語発展VIA	長岡	永平寺	L113	1	英語発展VIA	横田	永平寺	L105					
	1	水産増養殖学概論	末武	永平寺	L106						1	英語発展VIA	森	永平寺	L112	1	英語発展VIA	渡邊綾	永平寺	L106					
	1	英語発展VA	長岡	永平寺	L113						1	情報技術者(国家試験I)	徳野	永平寺	第1情報演習室	3	地球科学フィールド研究	西ほか17人	勝山	教員研究室					
	1	英語発展VA	森	永平寺	L112						3	地球科学フィールド研究	西ほか17人	勝山	教員研究室										
	1	英語発展VA	デンマン	永平寺	L111																				
	1	英語発展VA	横田	永平寺	L103																				
	1	英語発展VA	渡邊綾	永平寺	L104																				
	1	生物学I	加藤久	永平寺	L210																				
	2	地球科学基礎実験	村山、高田、中村	勝山	実験演習室1等																				
	集中講義	1~4	特別活動及び総合的な探究の時間の指導法	藤原	永平寺	L105																			
		1	体育実技III	石原	永平寺	体育館																			
		1~4	教育制度論	桐村	永平寺	L104																			
		1	地球科学フィールド実習I	柴田ほか3人	永平寺	共同実験室																			
2		地球科学フィールド実習II	林、神谷、安藤	勝山	岩石粉砕処理室等																				
2		古生物学実習I	柴田ほか3人	勝山	地学標本製作室等																				
2		岩石・鉱物学	高嶋	勝山	講義室2																				
2		ジオパーク学	町、Naksri	勝山	講義室1																				
2		博物館教育論	國崎	勝山	講義室2																				
3		海洋地球科学実習	神谷ほか3人	勝山	XRF分析室等																				
3	コンピュータグラフィック概論	鹿納ほか3人	勝山	情報処理演習室																					
3	博物館資料論	鹿納、小泉	勝山	講義室1																					
4	教育実習	國崎	永平寺	L107																					

恐竜学部 時間割案(後期)

	1時限(9:00~10:30)					2時限(10:40~12:10)					3時限(13:00~14:30)					4時限(14:40~16:10)					5時限(16:20~17:50)				
	配当	授業科目名	担当教員	キャンパス	教室	配当	授業科目名	担当教員	キャンパス	教室	配当	授業科目名	担当教員	キャンパス	教室	配当	授業科目名	担当教員	キャンパス	教室	配当	授業科目名	担当教員	キャンパス	教室
月曜日	1	英語発展IB	長岡	永平寺	L113	1	英語C	長岡	永平寺	L113	1	教養ゼミナール	加藤ま	永平寺	L212	1~4	発達心理学	乙部	永平寺	L105	1~4	理科教育法II	浅原、山田	永平寺	L207
	1	英語発展IB	森	永平寺	L112	1	英語C	森	永平寺	L105	1	教養ゼミナール	亀田	永平寺	L211	2	デジタル古生物学研究法実習	河部、鹿納、法木	勝山	大型CT室等	4	卒業研究	西ほか19人	勝山	教員研究室
	1	英語発展IB	デンマン	永平寺	L111	1	英語C	横田	永平寺	L104	1	教養ゼミナール	石原	永平寺	L213										
	1	英語発展IB	横田	永平寺	L103	1	英語C	横田	永平寺	L106	1	中国語D	加藤錦	永平寺	L204										
	1	英語発展IB	渡邊綾	永平寺	L104	2	デジタル古生物学概論	河部、鹿納、法木	勝山	講義室2	1	統計学基礎	田中	永平寺	L103										
	2	古生物学概論	高田、安藤	永平寺	L105						1	地層学	西、安藤	永平寺	L207										
	2	地球年代学	村山、山田	勝山	講義室1					2	デジタル古生物学研究法実習	河部、鹿納、法木	勝山	大型CT室等											
火曜日	1	哲学	渡邊浩	永平寺	L105	1	ICTリテラシー	徳野	永平寺	第1情報演習室	1	教養ゼミナール	渡邊浩	永平寺	L212	2	古生物学実験	神谷、藤田	勝山	実験演習室1等	1~4	特別支援教育	清水	永平寺	L104
	1	社会学	加藤ま	永平寺	L108	1	ICTリテラシー	田中	永平寺	第2情報演習室	1	教養ゼミナール	松本	永平寺	L211	4	教職実践演習	黒田・國崎	永平寺	L106	4	卒業研究	西ほか19人	勝山	教員研究室
	1	東洋思想	亀田	永平寺	L106	1	情報科学	村田	永平寺	L111	1	教養ゼミナール	根田	永平寺	L213										
	1	歴史学	松本	永平寺	L205						1	韓国朝鮮語B	李	永平寺	L103										
	1	英語発展IB	長岡	永平寺	L113						1	数学基礎	谷川	永平寺	L104										
	1	英語発展IB	森	永平寺	L112						1	海洋生物学	土屋	永平寺	L207										
	1	英語発展IB	デンマン	永平寺	L111						2	古生物学実験	神谷、藤田	勝山	実験演習室1等										
	1	英語発展IB	横田	永平寺	L103																				
	1	英語発展IB	渡邊綾	永平寺	L104																				
	1	メディア情報リテラシー	徳野	永平寺	第1情報演習室																				
	1	体育実技I	石原	永平寺	体育館																				
水曜日	1	倫理学	渡邊浩	永平寺	L204	1	英語D	長岡	永平寺	L113	1~4	教育相談	黒田	永平寺	L103	1~4	生徒・進路指導論	黒田、塚田、山田	永平寺	L106	1~3	道德教育の理論と実践	國崎	永平寺	L103
	1	西洋史	松本	永平寺	L207	1	英語D	森	永平寺	L105	3	古生物学課題演習	西ほか10人	勝山	教員研究室										
	1	臨床心理学概論	黒田	永平寺	L105	1	英語D	デンマン	永平寺	L212	3	地質学課題演習	神谷ほか8人	勝山	教員研究室										
	1	英語発展III	長岡	永平寺	L113	1	英語D	横田	永平寺	L104															
	1	英語発展III	森	永平寺	L112	1	英語D	渡邊綾	永平寺	L106															
	1	体育実技II	石原	永平寺	体育館	4	卒業演習II	西ほか19人	勝山	教員研究室															
	1	政治学	永田	永平寺	L205																				
	1	現代人権論	根田	永平寺	L206																				
1	解析学	田中	永平寺	第2情報演習室																					
木曜日	1	ジェンダー論	加藤ま	永平寺	L206	1	データサイエンス基礎	田中	永平寺	第1情報演習室	1	西洋思想	渡邊浩	永平寺	L103	1	学校インターンシップB	國崎	永平寺	L103	1~4	教育史	國崎	永平寺	L105
	1	東洋史	亀田	永平寺	L106	1	データサイエンス基礎	徳野	永平寺	第2情報演習室	1	国際社会と法	根田	永平寺	L104	1	地理学	石丸	永平寺	L103					
	1	日本国憲法	根田	永平寺	L105						1	プログラミング応用	村田	永平寺	第1情報演習室	1	運動処方論	石原	永平寺	L104					
	1	英語発展IV	長岡	永平寺	L113						1	英語発展III	デンマン	永平寺	L111	1	データサイエンス応用	谷川	永平寺	第2情報演習室					
	1	英語発展IV	森	永平寺	L112						1	英語発展III	横田	永平寺	L105	1	英語発展IV	デンマン	永平寺	L111					
	1	情報処理演習(AI)	徳野	永平寺	第1情報演習室						1	英語発展III	渡邊綾	永平寺	L106	1	英語発展IV	横田	永平寺	L105					
	1	バイオサイエンス基礎	伊藤	永平寺	L103						1	英語発展IV	渡邊綾	永平寺	L106	2	地球環境変動学	藤田	勝山	講義室1					
金曜日	1	心理学	清水	永平寺	L204	1	言語文化(中国)B	加藤錦	永平寺	L105	1	中国語B	加藤錦	永平寺	L204	1	東洋の世界	亀田	永平寺	L105	1~3	教育原理	國崎	永平寺	L204
	1	法学	根田	永平寺	L205	1	言語学	森	永平寺	L103	1	神話学	松本	永平寺	L205	1	韓国朝鮮語B	李	永平寺	L104					
	1	英語発展VB	長岡	永平寺	L113	1	ICTリテラシー	村田	永平寺	第1情報演習室	1	現代家族論	加藤ま	永平寺	L103	1	中国語B	加藤錦	永平寺	L204					
	1	英語発展VB	森	永平寺	L112	1	データサイエンス基礎	谷川	永平寺	第2情報演習室	1	言語文化(韓国朝鮮)B	李	永平寺	L105	1	英語発展VIB	デンマン	永平寺	L111					
	1	英語発展VB	デンマン	永平寺	L111	1	情報科学	徳野	永平寺	L111	1	情報技術者(民間資格)	徳野	永平寺	第2情報演習室	1	英語発展VIB	横田	永平寺	L206					
	1	英語発展VB	横田	永平寺	L103	2	海洋底地球科学	村山	勝山	講義室1	1	英語発展VIB	長岡	永平寺	L113	1	英語発展VIB	渡邊綾	永平寺	L205					
	1	英語発展VB	渡邊綾	永平寺	L104	3	災害・防災学	山田	勝山	講義室2	1	英語発展VIB	森	永平寺	L112	2	博物館展示論	鹿納、柴田、藤田	勝山	講義室1					
	1	情報技術者(国家試験II)	徳野	永平寺	第1情報演習室						2	地球化学	中村、前田、静谷	勝山	講義室1										
	1	物理学II	谷川	永平寺	L206						3	古生物学II(微生物)	高田、西、木下	勝山	講義室2										
	1	海と暮らし	水田	永平寺	L105																				
	1	東アジアの文化と社会	加藤錦	永平寺	L106																				
1	地球環境学概論	西、安藤	永平寺	L210																					
3	古植物学	中村ほか3人	勝山	講義室1																					
集中講義	2	地球物理学	山本	勝山	講義室1																				
	2	恐竜学特論	柴田ほか4人	勝山	講義室1																				
	2	博物館情報・メディア論	鹿納、千秋	勝山	情報処理演習室																				
	3	恐竜発掘実習	柴田、服部	勝山	海外(タイ)																				
3	古生物学III(無脊椎動物)	神谷ほか5人	勝山	講義室2																					
3	応用地質学	林、山岸、高野	勝山	講義室2																					
3	生涯学習概論	國崎	勝山	講義室2																					
4	博物館実習	柴田ほか3人	勝山	恐竜博物館																					

補正後

単位互換制度に関する恐竜学部開放予定科目

No	授業科目名	担当教員	開講時期	単位数	備考
1	古生物学概論	高田、安藤	後期	2	専門教育科目
2	地層学	西、安藤	後期	2	専門教育科目
3	古生物地理学	西、高田	前期	2	専門教育科目
4	古植物学	中村、大石、 寺田、湯川	後期	2	専門教育科目
5	博物館概論	中川、高津	前期	2	専門教育科目
6	博物館経営論	池上、辻野、一島	前期	2	専門教育科目
7	博物館教育論	國崎	前期	2	専門教育科目
8	博物館展示論	鹿納、柴田、蘇	後期	2	専門教育科目
9	博物館情報・メディア論	鹿納、千秋	後期	2	専門教育科目
10	博物館資料論	鹿納、小泉	前期	3	専門教育科目
11	博物館資料保存論	鹿納、千秋	前期	3	専門教育科目
12	生涯学習概論	國崎	後期	3	専門教育科目
13	博物館実習	柴田、河部 今井、服部	後期	4	専門教育科目
14	地球環境学概論	西、安藤	後期	2	一般教育科目
15	脊椎動物の進化	河部、今井	前期	2	一般教育科目
16	恐竜学	柴田、服部	前期	2	一般教育科目

※募集状況によっては、抽選を行う場合がある。

単位互換制度に関する恐竜学部開放予定科目

No	授業科目名	担当教員	開講時期	単位数	備考
1	古生物学概論	高田、安藤	後期	2	専門教育科目
2	地層学	西、安藤	後期	2	専門教育科目
3	古生物地理学	西、高田	前期	2	専門教育科目
4	古植物学	中村、大石、 寺田、湯川	後期	2	専門教育科目
5	博物館概論	鹿納	前期	2	専門教育科目
6	博物館経営論	鹿納、一島	前期	2	専門教育科目
7	博物館教育論	國崎	前期	2	専門教育科目
8	博物館展示論	鹿納、柴田、蘇	後期	2	専門教育科目
9	博物館情報・メディア論	鹿納、千秋	後期	2	専門教育科目
10	博物館資料論	鹿納、小泉	前期	3	専門教育科目
11	博物館資料保存論	鹿納、千秋	前期	3	専門教育科目
12	生涯学習概論	國崎	後期	3	専門教育科目
13	博物館実習	柴田、河部 今井、服部	後期	4	専門教育科目
14	地球環境学概論	西、安藤	後期	2	一般教育科目
15	脊椎動物の進化	河部、今井	前期	2	一般教育科目
16	恐竜学	柴田、服部	前期	2	一般教育科目

※募集状況によっては、抽選を行う場合がある。

別記様式第2号 (その3の1)

抜粋

(用紙 日本産業規格A4縦型)

授 業 科 目 の 概 要				
(恐竜学部恐竜・地質学科)				
科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
一般 教育 科目	VII 自然 科学		地球環境の諸問題は、現代を生きる上で不可避であり、地球環境の理解は私たちの様々な活動と直結する問題である。本授業では、現在の地球環境問題を理解するために、地球環境の地質学的変遷やシステムの概要を学ぶ。それに基づいて、現代の地球環境問題の実態と原因を体系的に理解することを目指す。 (オムニバス方式/全15回) ① 西 弘嗣/8回 アルベドやミランコビッチサイクル、炭素循環等について ② 安藤 寿男/7回 時代ごとの環境変動や地球温暖化について	オムニバス方式
			古生物学では多様な対象と多岐にわたる手法に関する知識を必要とする。本授業では、その基礎的な知識全般を具体的な実例を用いて学び、古生物学が地球科学の研究に果たした役割を学ぶ。化石を通して地球と生命の歴史を探究するために、古生物学の基礎となる項目に関して解説する。また、地球生命史の復元における古生物研究の役割も紹介する。 (オムニバス方式/全15回) ⑤ 高田 裕行・② 安藤 寿男/1回 (共同) 古生物学の対象範囲について ⑤ 高田 裕行/6回 古生物学の歴史と発展、化石等について ② 安藤 寿男/8回 タフオノミーや古生物分類学等について	主要授業科目 オムニバス方式・ 共同 (一部)
			環境や生物の変遷などの地球の歴史は、地層に記録されている。本授業では、地層はどのようにして形成されるのか、地層からどのようなことを読み取ることができるかを学ぶ。また、地層や堆積物の性質や形成過程、堆積環境と堆積相との関係などについて学び、地球の歴史を読み取るための手法や知識を体系的に学習する。 (オムニバス方式/全15回) ① 西 弘嗣/6回 地質年代、古環境の復元等について ② 安藤 寿男/9回 地層の形成や堆積構造等について	主要授業科目 オムニバス方式
			日本列島は、プレートテクトニクスでは島弧-海溝系に位置するとされ、地震や火山などの現象がなぜ起こるのか、説明されている。本授業では、最初に地殻表層の地形と構造をもたらしているプレートテクトニクスに関して概観し、日本列島がどのような地質学的な位置にあるかを把握し、島弧-海溝系としての特徴を学ぶ。さらに、数億年に及ぶ日本列島の地質構造発達史を概説する。また、現在の福井の地質がどのように形成されたのかあわせて学ぶ。 (オムニバス方式/全15回) ① 西 弘嗣/7回 地質年代ごとの日本列島の特徴等について ② 安藤 寿男/8回 現在の日本列島の構造等について	主要授業科目 オムニバス方式
専門 教育 科目	専門 基礎 科目		本演習では、地質調査に携わるために必要な基礎的知識・技術である地形図の読み方、地質図から層序や地質構造を読み取る方法、さらには地質図・地質断面図の書き方についての演習を行う。また、褶曲・断層や古流向などの面構造・線構造の解析に用いられるステレオ投影法の基礎を学習する。 (オムニバス方式/全15回) ④ 山田 努/5回 地形図と地質図、ステレオ投影法について ⑭ 林 圭一/6回 地質断面図の作図、ルートマップからの地質図・地質柱状図の作図について ② 安藤 寿男/4回 露出の幅と地層の厚さや地層境界線の作図等について	主要授業科目 オムニバス方式

専門教育科目	恐竜・古生物コース必修科目	古生物地理学	<p>本授業では、陸上および海洋の生物地理区がどのように成立していったかを学ぶ。また、大陸移動を含めた古生物地理学も同時に学習し、様々な古生物の時空間分布の変遷を取り上げ、それぞれの進化学的な意義などについて概説をする。</p> <p>(オムニバス方式/全15回) (① 西 弘嗣/9回) 古生物地理学の概要(地理区分等)や浮遊性生物の分布や特徴について (5 高田 裕行/6回) 底生生物の分布や特徴について</p>	オムニバス方式
		古生物データサイエンス学	<p>化石種を含め生物に関する実験や調査で得られたデータから、学術的に意味のある結論を導き出すには、統計学的手法を用いなければならない。本授業では統計学的手法の基礎的な理論や処理方法などを学ぶ。また、現生あるいは化石試料を実際に計測して得られたデータから、形態に関する様々な統計解析の手法も実際の作業を通して学ぶ。</p> <p>(オムニバス方式/全15回) (8 藤田 和彦/5回) 統計・検定の理論と基礎、特に一変量データの解析方法や表現方法について (5 高田 裕行/5回) 多変量データの解析の基礎と研究例について (③ 木下 峻一/5回) 古生物の形態解析の基礎と最新の研究例について</p>	オムニバス方式
		古生物学Ⅱ(微生物)	<p>古生物には微化石とよばれる顕微鏡サイズの化石があり、過去の地球の環境や気候を復元するのに使われている。本授業では、代表的な微化石の分類群について学び、それらが年代決定・古環境の研究に果たす役割を理解する。また、恐竜時代から現在までの事例を取り上げ、海洋の大きな変動も紹介する。さらに、環境変化に鋭敏である浅海域の環境の変化を理解するため、サンゴ礁を取り上げ、そこに棲む生物やその変遷にも焦点をあて概説する。</p> <p>(オムニバス方式/全15回) (5 高田 裕行/5回) 底生微化石の生活史・古環境復元の研究事例について (① 西 弘嗣/5回) 浮遊性微化石にもとづく年代決定と海洋環境の復元について (③ 木下 峻一/5回) サンゴ礁生物の変遷について</p>	オムニバス方式
	地質・古環境コース必修科目	災害・防災学Ⅰ	<p>日本列島は4つのプレートが関与する変動帯に位置しているため、火山活動や地震が頻繁に発生し、ときには津波も襲来する。本授業では特に地震災害や火山災害について、過去の災害の記録を概観して、災害が繰り返し発生してきたことを確認し、災害の原因や特徴を学ぶ。また、東日本大震災や能登半島地震など近年の災害や、北陸地方に特徴的な災害を福井県の事例を中心に紹介する。さらに、国内外で先史・歴史時代に起きた巨大災害も学習する。</p> <p>(オムニバス方式/全15回) (⑤ 後藤 和久/8回) ガイダンス、火山災害等について (④ 菅原 大助/6回) 地震、津波、北陸地方の災害等について (⑤ 後藤 和久・④ 菅原 大助/1回) (共同) 地質時代の巨大災害と全体のまとめ</p>	オムニバス方式・共同(一部)
		災害・防災学Ⅱ	<p>日本はプレートが沈み込むプレート境界に位置しているため、地形が急峻で、地震・火山活動が活発である。さらに、中緯度の湿潤帯に位置しているため、台風・豪雨などの気象災害を受けやすい環境条件にある。本講義では、以上のような地球科学的バックグラウンドのなかでこれまでに発生してきた各種の気象災害・土砂災害について学び、具体的な防災についても考えていく。</p>	

専門教育科目	専門応用科目	両コース選択必修科目	コンピュータグラフィック概論	古生物学の復元においてコンピュータ・グラフィックス (CG) の知識は必要不可欠となっている。本授業では、古生物復元の映像化に必要な CG の理論を学ぶ。恐竜や微化石など専門分野ごとの CG の活用事例も紹介し、古生物研究や展示・利活用へ応用する技術も学ぶ。実際に、Web による配信技術のプログラム知識の習得、CG 映像作成、仮想現実 (VR) コンテンツ作成を行うことで古生物に関連したデジタルコンテンツの企画・制作・利用についても学ぶ。 (オムニバス方式/全15回) (13 鹿納 晴尚/3回) 3DCGの基礎およびXR技術について (7 河部 壮一郎/1回) 恐竜化石と3DCGについて (③ 木下 俊一/1回) 微化石と3DCGについて (15 今井 拓哉/2回) 3DCGの権利関係とCGの見せ方について (13 鹿納 晴尚・7 河部 壮一郎・③ 木下 俊一・15 今井 拓哉/8回) (共同) Blenderでの3DCG動画コンテンツ作成演習、UnityでのVRコンテンツ作成演習	オムニバス方式・共同 (一部) 演習 14時間 講義 16時間
			GIS・リモートセンシング学	地球環境や地域環境の調査、災害調査、地域計画などの分野で利用されているリモートセンシングについて基礎から応用までの概要を学習する。また、リモートセンシングデータ解析について事例を参照しながら学習する。具体的には、センシングの原理、データの入手方法、データの補正処理や解析手法を学習し、GISデータやUAV空撮画像や衛星画像を利用して理解を深める。	講義 16時間 演習 14時間
		学芸員課程科目		博物館概論	博物館は時代とともに社会から求められる機能や役割が変化してきた。授業では、はじめに博物館学と国内外の博物館の歴史を学ぶ。次いで、博物館が持つ機能と役割について実例を示し関連法令と共に理解を進める。専門の異なる博物館や地域の博物館の現状について学ぶことにより、博物館が持つ役割や諸活動の意義、課題などを理解する。 (オムニバス方式/全15回) (⑧ 中川 良平/7回) 博物館の歴史や目的、機能等について (⑨ 高津 翔平/8回) 博物館の事例紹介や学芸員の役割等について
			博物館経営論	博物館の経営には、関係する財政、法令、施設・設備管理のほか、組織構築や、中長期計画の策定など様々な知識が求められる。さらに博物館は社会との関わりのなかで、他の機関・博物館や地域社会との連携が求められる。これらの事例は博物館の規模や運営主体により異なるので、授業ではそれぞれに実例を示しながら博物館の運営に関することを包括的に学ぶ。さらに、恐竜博物館の経営について実例と共にその課題について議論することで、博物館経営の実態を学ぶ。 (オムニバス方式/全15回) (⑩ 池上 直樹/7回) 博物館の経営基盤等について (⑪ 辻野 泰之/7回) 博物館における社会連携、国内外博物館の事例紹介等について (71 一島 啓人/1回) 恐竜博物館の経営と課題について	オムニバス方式

災害・防災学 I

追加

(Sciences of Natural Disaster and its Prevention I)

科目区分	担当教員				
専門 選択必修 講義	後藤和久、菅原大助				
	対象学年	3年	開講期	後期	単位数
オフィスアワー	@@@@@@@@@@@				
メールアドレス	@@@@@@@@@@@				
授業概要	日本列島は4つのプレートが関与する変動帯に位置しているため、火山活動や地震が頻繁に発生し、ときには津波も襲来する。本授業では特に地震災害や火山災害について、過去の災害の記録を概観して、災害が繰り返し発生してきたことを確認し、災害の原因や特徴を学ぶ。また、東日本大震災や能登半島地震など近年の災害や、北陸地方に特徴的な災害を福井県の事例を中心に紹介する。さらに、国内外で先史・歴史時代に起きた巨大災害も学習する。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本列島の地質学的な位置・特徴、および過去の地震・火山災害を総括的に理解できる 2. 地震・火山災害の起こるパターンを将来の予測も含めて理解できる 3. 各災害の原因と特徴を学習し、理解できる 4. 東日本大震災や能登半島地震などの実相と福井県に特徴的な災害事例なども参考として、地震・火山災害に関する知識が修得できる <p>関連するDP（ディプロマ・ポリシー） DP2. 古生物学や地質学、古環境学、デジタル科学等の専門知識を身につけ、またそれらに関連する調査研究方法を修得している</p>				
授業計画・内容	後藤：8回、菅原：6回、後藤・菅原：1回 第1回 ガイダンス：日本列島の地質学的位置と特徴、人類と自然災害（後藤） 第2回 災害の発生と被害・防災（海溝型地震）（後藤） 第3回 災害の発生と被害・防災（活断層地震）（菅原） 第4回 災害の発生と被害・防災（津波）（菅原） 第5回 災害の発生と被害・防災（火山）（後藤） 第6回 地震・津波・火山の3つの災害間の関係性（後藤） 第7回 近年の災害の実相と防災へ向けた教訓（東日本大震災）（菅原） 第8回 近年の災害の実相と防災へ向けた教訓（能登半島地震）（菅原） 第9回 近年の災害の実相と防災へ向けた教訓（御嶽山噴火）（後藤） 第10回 先史・歴史災害（過去の災害の復元手法）（後藤） 第11回 先史・歴史災害（日本で起きた過去の巨大地震・津波）（菅原） 第12回 先史・歴史災害（北陸地方の各種災害）（菅原） 第13回 先史・歴史災害（日本で起きた過去の巨大火山噴火）（後藤） 第14回 先史・歴史災害（世界で起きた過去の巨大災害）（後藤） 第15回 地質時代の巨大災害と全体のまとめ（後藤・菅原）				
キーワード	地震・津波災害、火山災害、東日本大震災、能登半島地震				
教科書	資料を配付する。				
参考書	地震と火山と防災のはなし（楠城一嘉編著、成山堂書店、2022年） 活断層地震はどこまで予測できるか 日本列島で今起きていること（遠田晋次、講談社、2016年） 巨大津波 地層からの警告（後藤和久、日本経済新聞出版社、2014年） 東日本大震災からのスタート—災害を考える51のアプローチ—（東北大学災害科学国際研究所編、2021年）				
評価方法・評価基準	課題の提出（30%）と学期末試験（70%）で評価する。				
履修要件	特になし。				
必要な事前・事後学習	事前学習：資料や参考書を用いて授業範囲の予習を行うこと。 事後学習：課題を期限内に提出すること。				
その他	授業ではパソコンを使用するため、教員の指示に従って持参すること。				

災害・防災学Ⅱ

(Sciences of Natural Disaster and its Prevention Ⅱ)

科目区分	担当教員				
専門 選択必修 講義	西山賢一				
	対象学年	4年	開講期	前期	単位数
オフィスアワー	@@@@@@@@@@@@				
メールアドレス	@@@@@@@@@@@@				
授業概要	日本はプレートが沈み込むプレート境界に位置しているため、地形が急峻で、地震・火山活動が活発である。さらに、中緯度の湿潤帯に位置しているため、台風・豪雨などの気象災害を受けやすい環境条件にある。本講義では、以上のような地球科学的バックグラウンドのなかでこれまでに発生してきた各種の気象災害・土砂災害について学び、具体的な防災についても考えていく。				
到達目標	1 気象・防災情報の種類と活用法を理解する 2 地形・地質的に見た土砂移動現象について理解する 3 斜面で発生する土砂災害の種類と危険性を理解する 4 ハザードマップの活用法を理解する 関連する DP (ディプロマ・ポリシー) DP2. 古生物学や地質学、古環境学、デジタル科学等の専門知識を身につけ、またそれらに関連する調査研究方法を修得している				
授業計画・内容	第1回 ガイダンス：日本列島の気象学的な位置と特徴、人類と自然災害 第2回 気象情報の種類と活用法 第3回 防災情報の種類と活用法 第4回 洪水災害の実例を踏まえた防災 第5回 土砂災害の実例を踏まえた防災 第6回 気象災害・土砂災害と防災1 (地形変化と土砂移動) 第7回 気象災害・土砂災害と防災2 (地質プロセスと地質ハザード) 第8回 気象災害・土砂災害と防災3 (斜面崩壊の特徴と予測) 第9回 気象災害・土砂災害と防災4 (土石流の特徴と予測) 第10回 気象災害・土砂災害と防災5 (地すべりの特徴と予測) 第11回 気象災害・土砂災害と防災6 (岩盤崩壊・落石の特徴と予測) 第12回 気象災害・土砂災害と防災7 (巨大崩壊の特徴と予測) 第13回 ハザードマップの解読法 第14回 ハザードマップの活用法 第15回 福井県における土砂災害の事例				
キーワード	土砂災害、気象災害、防災				
教科書	資料を配付する。				
参考書	土砂災害の疑問 55 (一般社団法人日本応用地質学会災害地質研究部会編、成山堂書店、2022年) 地域防災と時間性 (高田知紀編、ユニオンプレス、2023年)				
評価方法・評価基準	課題の提出 (30%) と学期末試験 (70%) で評価する。				
履修要件	特になし。				
必要な事前・事後学修	事前学習：資料や参考書を用いて授業範囲の予習を行うこと。 事後学習：課題を期限内に提出すること。				
その他	授業ではパソコンを使用するため、教員の指示に従って持参すること。				

災害・防災学

削除

(Sciences of Natural Disaster and its Prevention)

科目区分	担当教員				
専門 選択必修 講義	山田努				
	対象学年	3年	開講期	後期	単位数
オフィスアワー	@@@@@@@@@@@@				
メールアドレス	@@@@@@@@@@@@				
授業概要	日本列島は 4 つのプレートが関与する変動帯に位置しているため、火山活動や地震が頻繁に発生し、ときには津波も襲来する。また、アジアモンスーン地域にもあり、大雨による気象災害・土砂災害が発生しやすい。本授業では過去の災害の記録を概観して、災害が繰り返し発生してきたことを確認し、様々な自然災害の原因や特徴を学ぶ。また、東日本大震災を例にあげ、市民生活への影響、災害調査やレスキュー活動の状況なども紹介する。さらに、防災に関する知識も学習する。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本列島の地質学的・気象学的位置・特徴、および過去の災害を総括的に理解できる 2. 様々な自然災害の起こるパターンを将来の予測も含めて理解できる 3. 各災害の原因と特徴を学習し、理解できる 4. 東日本大震災の実相とその後行われた対策なども参考として、防災に関する知識が修得できる <p>関連する DP (ディプロマ・ポリシー) DP2. 古生物学や地質学、古環境学、デジタル科学等の専門知識を身につけ、またそれらに関連する調査研究方法を修得している</p>				
授業計画・内容	第 1 回 ガイダンス：日本列島の地質学的・気象学的位置と特徴、人類と自然災害 第 2 回 歴史災害Ⅰ（地震・津波災害） 第 3 回 歴史災害Ⅱ（火山災害、土砂災害、気象災害など） 第 4 回 地質災害（地震の原因と災害の特徴など） 第 5 回 地質災害（地震/津波・液状化などの原因と特徴など） 第 6 回 火山による災害（原因と特徴） 第 7 回 土砂災害（がけ崩れ・土石流・地すべりの各原因と特徴） 第 8 回 気象災害（種類、原因、特徴など） 第 9 回 東日本大震災の実相Ⅰ（概要） 第 10 回 東日本大震災の実相Ⅱ（津波被害など） 第 11 回 東日本大震災の実相Ⅲ（大学、市民生活、行政の対応など） 第 12 回 過去の津波を知る（津波/イベント堆積物） 第 13 回 防災Ⅰ（様々な防災対策） 第 14 回 防災Ⅱ（地域で起きた過去の災害とその原因などを調べる） 第 15 回 防災Ⅲと全体のまとめ				
キーワード	火山災害、地震/津波災害、土砂災害、気象災害、東日本大震災、防災				
教科書	資料を配付する。				
参考書	地震と火山と防災のはなし（楠城一嘉編著、成山堂書店、2022年） 巨大地震・巨大津波 東日本大震災の検証（平田直ほか著、朝倉書店、2011年） 土砂災害の疑問 55（一般社団法人日本応用地質学会災害地質研究部会編、成山堂書店、2022年）				
評価方法・評価基準	課題の提出（30%）と学期末試験（70%）で評価する。				
履修要件	特になし。				
必要な事前・事後学習	事前学習：資料や参考書を用いて授業範囲の予習を行うこと。 事後学習：課題を期限内に提出すること。				
その他	授業ではパソコンを使用するため、教員の指示に従って持参すること。				

GIS・リモートセンシング学

追加

(GIS and Remote Sensing)

科目区分	担当教員				
専門 選択必修 講義	長岡達哉				
	対象学年	3年	開講期	後期	単位数
オフィスアワー	@@@@@@@@@@@@				
メールアドレス	@@@@@@@@@@@@				
授業概要	地球環境や地域環境の調査、災害調査、地域計画などの分野で利用されているリモートセンシングについて基礎から応用までの概要を学習する。また、リモートセンシングデータ解析について事例を参照しながら学習する。具体的には、センシングの原理、データの入手方法、データの補正処理や解析手法を学習し、GISデータやUAV空撮画像や衛星画像を利用して理解を深める				
到達目標	<p>1. リモートセンシングおよびGISに関わる基本的な概念が理解できている</p> <p>2. センシングデータを地理的に分析する手法が理解できている</p> <p>3. センシングデータを地球環境の理解に適用することができる</p> <p>関連するDP（ディプロマ・ポリシー）</p> <p>DP2. 古生物学や地質学、古環境学、デジタル科学等の専門知識を身につけ、またそれらに関連する調査研究方法を修得している</p> <p>DP4. 迅速に発展するグローバル社会やデジタル社会に適応し、外国語やデジタル技術を地球科学諸問題の課題に適切に活用することができる</p>				
授業計画・内容	<p>第1回：リモートセンシング概論</p> <p>第2回：リモートセンシングの利用分野・センシングに関わる物理</p> <p>第3回：センシングデータの取得</p> <p>第4回：センシングデータ処理</p> <p>第5回：地図の基礎知識とGIS概論</p> <p>第6回：QGISによる地図作成1（QGISの基本操作、地図の投影法やデータ構造）</p> <p>第7回：QGISによる地図作成2（GISで利用可能なオープンデータの紹介と利用法）</p> <p>第8回：QGISによる地図作成3（地理院DEMデータを用いた地形解析と地形分類図等の比較）</p> <p>第9回：UAV空撮画像を利用した画像解析1（デジタル画像の基礎知識・解析方法）</p> <p>第10回：UAV空撮画像を利用した画像作成2（正規化植生指数NDVIを用いた時系列解析）</p> <p>第11回：GoogleEarthEngineによる衛星画像解析1（GEEの基本操作、CodeEditorの基礎知識）</p> <p>第12回：GoogleEarthEngineによる衛星画像解析2（GEEを利用したクラウド衛星画像解析）</p> <p>第13回：GoogleEarthEngineによる衛星画像解析3（GEEによる夜間光画像解析法）</p> <p>第14回：県民衛星「すいせん」による災害規模把握1（「すいせん」画像の利用法）</p> <p>第15回：県民衛星「すいせん」による災害規模把握2（画像から被災規模の推定、時系列解析）</p>				
キーワード	リモートセンシング、GIS、人工衛星、県民衛星「すいせん」、UAV、画像処理、正規化植生指数NDVI、土砂災害				
教科書	基礎からわかるリモートセンシング（（一社）日本リモートセンシング学会編、理工図書（株）、2011年）				
参考書	<p>まちの課題・資源を可視化する QGIS 活用ガイドブック基本操作から実践例まで（半井真明著、（株）学芸出版社、2023年）</p> <p>Python で学ぶ衛星データ解析基礎—環境変化を定量的に把握しよう（田中康平・田村賢哉・玉置慎吾、図書印刷（株）、2022年）</p>				
評価方法・評価基準	課題の提出で評価する。				
履修要件	特になし。				
必要な事前・事後学修	<p>事前学修：資料や参考書を用いて授業範囲の予習を行うこと。</p> <p>事後学修：授業の内容を復習し、課題を期限内に提出すること。</p>				
その他	授業ではパソコンを使用するため、教員の指示に従って持参すること。				

地球環境学概論

(Principles of Environmental Geoscience)

科目区分		担当教員			
一般 選択 講義	西弘嗣、安藤寿男				
	対象学年	1 年	開講期	後期	単位数
オフィスアワー	@@@@@@@@@@@@				
メールアドレス	@@@@@@@@@@@@				
授業概要	地球環境の諸問題は、現代を生きる上で不可避であり、地球環境の理解は私たちの様々な活動と直結する問題である。本授業では、現在の地球環境問題を理解するために、地球環境の地質学的変遷やシステムの概要を学ぶ。それに基づいて、現代の地球環境問題の実態と原因を体系的に理解することを目指す。				
到達目標	<p>1. 地球の環境変化を引き起こす要因について理解できる</p> <p>2. 様々な環境問題に対応できるような基礎的知識を修得できる</p> <p>3. 現在も進行している温暖化に関する知識や理解をさらに深めることができる</p> <p>関連する DP (ディプロマ・ポリシー)</p> <p>DP2. 古生物学や地質学、古環境学、デジタル科学等の専門知識を身につけ、またそれらに関連する調査研究方法を修得している</p>				
授業計画・内容	<p>西：8回、安藤：7回</p> <p>第1回：地球環境支配する要因（西）</p> <p>第2回：太陽運動と太陽放射（西）</p> <p>第3回：アルベドと気候への影響（西）</p> <p>第4回：地球の天文周期：ミランコビッチサイクル（西）</p> <p>第5回：温室効果ガスと地球温暖化（西）</p> <p>第6回：地球規模の炭素循環（西）</p> <p>第7回：氷期・間氷期の二酸化炭素濃度（西）</p> <p>第8回：過去の二酸化炭素濃度（西）</p> <p>第9回：地球の気候の周期性（安藤）</p> <p>第10回：古生代以前の地球環境変動（安藤）</p> <p>第11回：中生代の地球環境変動（安藤）</p> <p>第12回：新生代の地球環境変動（安藤）</p> <p>第13回：地球史に学ぶ地球環境問題の視点（安藤）</p> <p>第14回：資源問題と地球環境問題（安藤）</p> <p>第15回：地球環境問題への取組と SDGs（安藤）</p>				
キーワード	地球環境変動、ミランコビッチサイクル、炭素循環、地球温暖化、地球環境問題				
教科書	講義時に指示する。				
参考書	講義時に指示する。				
評価方法・評価基準	各課題の提出（20%）と学期末試験の成績（80%）で評価する。				
履修要件	特になし。				
必要な事前・事後学修	事前：資料や参考書を用いて授業範囲の予習を行うこと。 事後：授業の内容を復習し、課題を期限内に提出すること。				
その他	特になし。				

地球環境学概論

補正前

(Principles of Environmental Geoscience)

科目区分		担当教員				
一般 選択 講義	西弘嗣、安藤寿男					
	対象学年	1年	開講期	後期	単位数	2
オフィスアワー	@@@@@@@@@@@@					
メールアドレス	@@@@@@@@@@@@					
授業概要	地球環境の諸問題は、現代を生きる上で不可避であり、地球環境の理解は私たちの様々な活動と直結する問題である。本授業では、現在の地球環境問題を理解するために、地球環境の地質学的変遷やシステムの概要を学ぶ。それに基づいて、現代の地球環境問題の実態と原因を体系的に理解することを目指す。					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地球の環境変化を引き起こす要因について理解できる 2. 様々な環境問題に対応できるような基礎的知識を修得できる 3. 現在も進行している温暖化に関する知識や理解をさらに深めることができる <p>関連する DP (ディプロマ・ポリシー) DP2. 古生物学や地質学、古環境学、デジタル科学等の専門知識を身につけ、またそれらに関連する調査研究方法を修得している</p>					
授業計画・内容	<p>西：8回、安藤：7回</p> <p>第1回：地球環境支配する要因（西） 第2回：太陽運動と太陽放射（西） 第3回：アルベドと気候への影響（西） 第4回：地球の天文周期：ミランコビッチサイクル（西） 第5回：温室効果ガスと地球温暖化（西） 第6回：地球規模の炭素循環（西） 第7回：氷期・間氷期の二酸化炭素濃度（西） 第8回：過去の二酸化炭素濃度と気候変動（西） 第9回：地球の気候の周期性（安藤） 第10回：古生代以前の地球環境変動（安藤） 第11回：中生代の地球環境変動（安藤） 第12回：新生代の地球環境変動（安藤） 第13回：地球史に学ぶ地球環境問題の視点（安藤） 第14回：資源問題と地球環境問題（安藤） 第15回：地球環境問題への取組と SDGs（安藤）</p>					
キーワード	地球環境変動、ミランコビッチサイクル、炭素循環、地球温暖化、地球環境問題					
教科書	講義時に指示する。					
参考書	講義時に指示する。					
評価方法・評価基準	各課題の提出（20%）と学期末試験の成績（80%）で評価する。					
履修要件	特になし。					
必要な事前・事後学修	事前：資料や参考書を用いて授業範囲の予習を行うこと。 事後：授業の内容を復習し、課題を期限内に提出すること。					
その他	特になし。					

地層学

(Stratigraphy)

科目区分	担当教員				
専門 必修 講義	西弘嗣、安藤寿男				
	対象学年	1年	開講期	後期	単位数
オフィスアワー	@@@@@@@@@@@@				
メールアドレス	@@@@@@@@@@@@				
授業概要	環境や生物の変遷などの地球の歴史は、地層に記録されている。本授業では、地層はどのようにして形成されるのか、地層からどのようなことを読み取ることができるかを学ぶ。また、地層や堆積物の性質や形成過程、堆積環境と堆積相との関係などについて学び、地球の歴史を読み取るための手法や知識を体系的に学習する。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地層に関する基本的用語や概念が理解できる 2. 地層の形成過程や堆積環境の多様性が概観できる 3. 地球表層物質としての堆積岩の分類やその循環を概念化できる 4. 相対年代・絶対年代の概念を理解した上で、地層学、堆積学、地質年代学の基礎が修得できる。 <p>関連する DP (ディプロマ・ポリシー) DP2. 古生物学や地質学、古環境学、デジタル科学等の専門知識を身につけ、またそれらに関連する調査研究方法を修得している</p>				
授業計画・内容	<p>安藤：9回、西：6回</p> <p>第1回：地層学の基礎①：地質学の諸原理、岩石の種類など（安藤） 第2回：地層学の基礎②：地層の形成、碎屑物の運搬と堆積の原理、整合と不整合など（安藤） 第3回：地層学の基礎③：地層の変形、続成作用など（安藤） 第4回：海で堆積した地層①：海洋の構造、海洋の堆積物分布、遠洋性堆積物など（安藤） 第5回：海で堆積した地層②：大陸縁辺の堆積物、堆積構造、重力流堆積物など（安藤） 第6回：シーケンス層序学（安藤） 第7回：陸上で堆積した地層：河川周辺の堆積構造、湖成層など（安藤） 第8回：特殊な環境で形成された地層：風成層、蒸発岩など（安藤） 第9回：火山近傍の地層：火山噴火に伴う堆積物、水中火山岩類、テフロクロロジーなど（安藤） 第10回：付加体：付加体の基礎、付加体の形成機構、海洋プレート層序など（西） 第11回：地質年代学の基礎①：岩相層序と地質年代層序、相対年代と絶対年代、生層序など（西） 第12回：地質年代学の基礎②：古地磁気層序、化学層序、放射年代学の原理と基礎など（西） 第13回：古環境の復元①：化石群集を用いた古環境の復元など（西） 第14回：古環境の復元②：有機・無機地球化学による古環境の復元など（西） 第15回：日本と世界の地層の具体的な事例紹介（西）</p>				
キーワード	地層、堆積物、堆積岩、地質学、地層、堆積学、地質年代学				
教科書	資料を配付する。				
参考書	<p>国際層序ガイド（日本地質学会訳編、共立出版、2001年） フィールドジオロジー2 層序と年代（日本地質学会フィールドジオロジー刊行委員会編、共立出版、2006年） フィールドジオロジー3 堆積物と堆積岩（日本地質学会フィールドジオロジー刊行委員会編、共立出版、2004年） フィールドジオロジー4 シーケンス層序と水中火山岩類（日本地質学会フィールドジオロジー刊行委員会編、共立出版、2006年） 地質学〈2〉地層の解説（平朝彦著、岩波書店、2004年） 図説 堆積構造の世界（日本堆積学会監修・伊藤慎総編集、朝倉書店、2022年）</p>				
評価方法・ 評価基準	各課題の提出（30%）と学期末試験（70%）で評価する。				
履修要件	特になし。				

必要な事前 ・事後学修	事前学修：資料や参考書を用いて授業範囲の予習を行うこと。 事後学修：配布された資料を復習し、課題を期限内に提出すること。
その他	特になし。

地層学

補正前

(Stratigraphy)

科目区分	担当教員				
専門 必修 講義	西弘嗣、安藤寿男				
	対象学年	1年	開講期	後期	単位数
オフィスアワー	@@@@@@@@@@@@				
メールアドレス	@@@@@@@@@@@@				
授業概要	環境や生物の変遷などの地球の歴史は、地層に記録されている。本授業では、地層はどのようにして形成されるのか、地層からどのようなことを読み取ることができるかを学ぶ。また、地層や堆積物の性質や形成過程、堆積環境と堆積相との関係などについて学び、地球の歴史を読み取るための手法や知識を体系的に学習する。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地層に関する基本的用語や概念が理解できる 2. 地層の形成過程や堆積環境の多様性が概観できる 3. 地球表層物質としての堆積岩の分類やその循環を概念化できる 4. 相対年代・絶対年代の概念を理解した上で、地層学、堆積学、地質年代学の基礎が修得できる。 <p>関連する DP (ディプロマ・ポリシー) DP2. 古生物学や地質学、古環境学、デジタル科学等の専門知識を身につけ、またそれらに関連する調査研究方法を修得している</p>				
授業計画・内容	<p>安藤：9回、西：6回</p> <p>第1回：地層学の基礎①：地質学の諸原理、岩石の種類など（安藤） 第2回：地層学の基礎②：地層の形成、碎屑物の運搬と堆積の原理、整合と不整合など（安藤） 第3回：地層学の基礎③：地層の変形、続成作用など（安藤） 第4回：海で堆積した地層①：海洋の構造、海洋の堆積物分布、遠洋性堆積物など（安藤） 第5回：海で堆積した地層②：大陸縁辺の堆積物、堆積構造、重力流堆積物など（安藤） 第6回：シーケンス層序学と海水準変動（安藤） 第7回：陸上で堆積した地層：河川周辺の堆積構造、湖成層など（安藤） 第8回：特殊な環境で形成された地層：風成層、蒸発岩など（安藤） 第9回：火山近傍の地層：火山噴火に伴う堆積物、水中火山岩類、テフロクロロジーなど（安藤） 第10回：付加体：付加体の基礎、付加体の形成機構、海洋プレート層序など（西） 第11回：地質年代学の基礎①：岩相層序と地質年代層序、相対年代と絶対年代、生層序など（西） 第12回：地質年代学の基礎②：古地磁気層序、化学層序、放射年代学の原理と基礎など（西） 第13回：古環境の復元①：化石群集を用いた古環境の復元など（西） 第14回：古環境の復元②：有機・無機地球化学による古環境の復元など（西） 第15回：日本と世界の地層の具体的な事例紹介（西）</p>				
キーワード	地層、堆積物、堆積岩、地質学、地層、堆積学、地質年代学				
教科書	資料を配付する。				
参考書	国際層序ガイド（日本地質学会訳編、共立出版、2001年） フィールドジオロジー2 層序と年代（日本地質学会フィールドジオロジー刊行委員会編、共立出版、2006年） フィールドジオロジー3 堆積物と堆積岩（日本地質学会フィールドジオロジー刊行委員会編、共立出版、2004年） フィールドジオロジー4 シーケンス層序と水中火山岩類（日本地質学会フィールドジオロジー刊行委員会編、共立出版、2006年） 地質学〈2〉地層の解説（平朝彦著、岩波書店、2004年） 図説 堆積構造の世界（日本堆積学会監修・伊藤慎総編集、朝倉書店、2022年）				
評価方法・評価基準	各課題の提出（30%）と学期末試験（70%）で評価する。				
履修要件	特になし。				

必要な事前 ・事後学修	事前学修：資料や参考書を用いて授業範囲の予習を行うこと。 事後学修：配布された資料を復習し、課題を期限内に提出すること。
その他	特になし。

博物館概論

(Principles of Museology)

科目区分	担当教員				
専門 選択 講義	中川良平、高津翔平				
	対象学年	2年	開講期	前期	単位数
オフィスアワー	@@@@@@@@@@@				
メールアドレス	@@@@@@@@@@@				
授業概要	博物館は時代とともに社会から求められる機能や役割が変化してきた。授業では、はじめに博物館学と国内外の博物館の歴史を学ぶ。次いで、博物館が持つ機能と役割について実例を示し関連法令と共に理解を進める。専門の異なる博物館や地域の博物館の現状について学ぶことにより、博物館が持つ役割や諸活動の意義、課題などを理解する。				
到達目標	1. 博物館に関する基礎的知識を理解し、博物館学芸員として専門性の基礎となる能力が修得できる 2. 博物館が地域社会から求められる役割について理解し、実践するための基礎的な知識が修得できる 関連するDP（ディプロマ・ポリシー） DP1. 地球科学をはじめとする自然科学分野のみならず、文理横断的な幅広い教養・視野を修得している				
授業計画・内容	中川：7回、高津：8回 第1回：博物館学と諸外国の博物館の歴史（中川） 第2回：日本の博物館の歴史（中川） 第3回：博物館の定義と関連法令（中川） 第4回：博物館の目的と機能1：資料の収集・整理・保存（中川） 第5回：博物館の目的と機能2：資料の調査・研究・展示・教育（中川） 第6回：博物館の目的と機能3：博物館の機能と分類（中川） 第7回：外国の自然科学系博物館（中川） 第8回：日本の自然科学系博物館（高津） 第9回：日本の人文学系博物館（高津） 第10回：地域の小規模博物館（高津） 第11回：学芸員の役割（高津） 第12回：現代社会と博物館1 生涯教育（高津） 第13回：現代社会と博物館2 学校教育（高津） 第14回：博物館の社会連携と課題（高津） 第15回：博物館概論のまとめ（高津）				
キーワード	博物館、博物館学、学芸員、社会教育、博物館法				
教科書	資料を配布する。				
参考書	新時代の博物館学（全国大学博物館学講座協議会西日本支部編、芙蓉書房出版、2012年）				
評価方法・評価基準	課題の提出（30%）と学期末試験（70%）で評価する。				
履修要件	特になし				
必要な事前・事後学修	事前学修：資料や参考書を用いて授業範囲の予習を行うこと。 事後学修：授業の内容を復習し、課題を期限内に提出すること。				
その他	学芸員養成課程の必修単位で、学芸員資格を希望する学生は受講すること。				

博物館概論

補正前

(Principles of Museology)

科目区分	担当教員				
専門 選択 講義	鹿納晴尚				
	対象学年	2年	開講期	前期	単位数
オフィスアワー	@@@@@@@@@@@@				
メールアドレス	@@@@@@@@@@@@				
授業概要	博物館は時代とともに社会から求められる機能や役割が変化してきた。授業では、はじめに博物館学と国内外の博物館の歴史を学ぶ。次いで、博物館が持つ機能と役割について実例を示し関連法令と共に理解を進める。専門の異なる博物館や地域の博物館の現状について学ぶことにより、博物館が持つ役割や諸活動の意義、課題などを理解する。				
到達目標	1. 博物館に関する基礎的知識を理解し、博物館学芸員として専門性の基礎となる能力が修得できる 2. 博物館が地域社会から求められる役割について理解し、実践するための基礎的な知識が修得できる 関連する DP (ディプロマ・ポリシー) DP1. 地球科学をはじめとする自然科学分野のみならず、文理横断的な幅広い教養・視野を修得している				
授業計画・内容	第1回：博物館学と諸外国の博物館の歴史 第2回：日本の博物館の歴史 第3回：博物館の定義と関連法令 第4回：博物館の目的と機能1：資料の収集・整理・保存 第5回：博物館の目的と機能2；資料の調査・研究・展示・教育 第6回：博物館の目的と機能3：博物館の機能と分類 第7回：外国の自然科学系博物館 第8回：日本の自然科学系博物館 第9回：日本の人文学系博物館 第10回：地域の小規模博物館 第11回：学芸員の役割 第12回：現代社会と博物館1 生涯教育 第13回：現代社会と博物館2 学校教育 第14回：博物館の社会連携と課題 第15回：博物館概論のまとめ				
キーワード	博物館、博物館学、学芸員、社会教育、博物館法				
教科書	資料を配布する。				
参考書	新時代の博物館学（全国大学博物館学講座協議会西日本支部編、芙蓉書房出版、2012年）				
評価方法・評価基準	課題の提出（30%）と学期末試験（70%）で評価する。				
履修要件	特になし				
必要な事前・事後学修	事前学修：資料や参考書を用いて授業範囲の予習を行うこと。 事後学修：授業の内容を復習し、課題を期限内に提出すること。				
その他	学芸員養成課程の必修単位で、学芸員資格を希望する学生は受講すること。				

博物館経営論

(Museum Management)

科目区分	担当教員				
専門 選択 講義	池上直樹、辻野泰之、一島啓人				
	対象学年	2年	開講期	前期	単位数
オフィスアワー	@@@@@@@@@@@				
メールアドレス	@@@@@@@@@@@				
授業概要	博物館の経営には、関係する財政、法令、施設・設備管理のほか、組織構築や、中長期計画の策定など様々な知識が求められる。さらに博物館は社会との関わりの中で、他の機関・博物館や地域社会との連携が求められる。これらの事例は博物館の規模や運営主体により異なるので、授業ではそれぞれに実例を示しながら博物館の運営に関することを包括的に学ぶ。さらに、恐竜博物館の経営について実例と共にその課題について議論することで、博物館経営の実態を学ぶ。				
到達目標	1. 学芸員として、博物館の形態面と活動面における適切な管理・運営が理解できる 2. 博物館経営に関する基礎的能力が修得できる 関連するDP（ディプロマ・ポリシー） DP1. 地球科学をはじめとする自然科学分野のみならず、文理横断的な幅広い教養・視野を修得している				
授業計画・内容	池上：7回、辻野：7回、一島：1回 第1回：博物館の経営基盤1 博物館の理念、目的と使命（ミュージアムマネージメント）（池上） 第2回：博物館の経営基盤2 行財政制度と関連法令（池上） 第3回：博物館の経営基盤3 施設・設備とユニバーサルデザイン（池上） 第4回：博物館の経営基盤4 組織と職員（池上） 第5回：博物館の経営1 ミッション（博物館の使命・中長期計画と評価）（池上） 第6回：博物館の経営2 博物館の倫理・行動規範（池上） 第7回：博物館の経営3 リスクマネジメント（池上） 第8回：博物館の経営4 展示・教育普及活動を通じた利用者との関係、ミュージアムショップ、館内レストラン・カフェ（辻野） 第9回：博物館と社会連携1 地域社会との連携（ボランティア・友の会など）（辻野） 第10回：博物館と社会連携2 他機関との連携（辻野） 第11回：博物館と社会連携3 博物館ネットワーク、他館との連携（辻野） 第12回：博物館と社会連携4 学校教育・地域社会との連携（辻野） 第13回：恐竜博物館の経営と課題1：博物館の長期経営計画と課題（辻野） 第14回：恐竜博物館の経営と課題2：現場から見た博物館経営と課題（一島：恐竜博物館副館長） 第15回：博物館経営の課題とまとめ（辻野）				
キーワード	博物館、ミュージアムマネージメント、経営基盤、社会連携、恐竜博物館				
教科書	資料を配布する。				
参考書	新時代の博物館学（全国大学博物館学講座協議会西日本支部編、芙蓉書房出版、2012年） 改訂新版 博物館経営論（佐々木亨・今村信隆編、放送大学教育振興会、2023年）				
評価方法・評価基準	課題の提出（30%）と学期末試験（70%）で評価する。				
履修要件	特になし。				
必要な事前・事後学修	事前学修：資料や参考書を用いて授業範囲の予習を行うこと。 事後学修：授業の内容を復習し、課題を期限内に提出すること。				
その他	学芸員養成課程の必修単位で学芸員資格を希望する学生は受講すること。				

博物館経営論

補正前

(Museum Management)

科目区分	担当教員				
専門 選択 講義	鹿納晴尚、一島啓人				
	対象学年	2年	開講期	前期	単位数
オフィスアワー	@@@@@@@@@@@				
メールアドレス	@@@@@@@@@@@				
授業概要	博物館の経営には、関係する財政、法令、施設・設備管理のほか、組織構築や、中長期計画の策定など様々な知識が求められる。さらに博物館は社会との関わりの中で、他の機関・博物館や地域社会との連携が求められる。これらの事例は博物館の規模や運営主体により異なるので、授業ではそれぞれに実例を示しながら博物館の運営に関することを包括的に学ぶ。さらに、恐竜博物館の経営について実例と共にその課題について議論することで、博物館経営の実態を学ぶ。				
到達目標	1. 学芸員として、博物館の形態面と活動面における適切な管理・運営が理解できる 2. 博物館経営に関する基礎的能力が修得できる 関連するDP（ディプロマ・ポリシー） DP1. 地球科学をはじめとする自然科学分野のみならず、文理横断的な幅広い教養・視野を修得している				
授業計画・内容	鹿納：14回、一島：1回 第1回：博物館の経営基盤1 博物館の理念、目的と使命（ミュージアムマネージメント）（鹿納） 第2回：博物館の経営基盤2 行財政制度と関連法令（鹿納） 第3回：博物館の経営基盤3 施設・設備とユニバーサルデザイン（鹿納） 第4回：博物館の経営基盤4 組織と職員（鹿納） 第5回：博物館の経営1 ミッション（博物館の使命・中長期計画と評価）（鹿納） 第6回：博物館の経営2 博物館の倫理・行動規範（鹿納） 第7回：博物館の経営3 リスクマネジメント（鹿納） 第8回：博物館の経営4 展示・教育普及活動を通じた利用者との関係、ミュージアムショップ、館内レストラン・カフェ（鹿納） 第9回：博物館と社会連携1 地域社会との連携（ボランティア・友の会など）（鹿納） 第10回：博物館と社会連携2 他機関との連携（鹿納） 第11回：博物館と社会連携3 博物館ネットワーク、他館との連携（鹿納） 第12回：博物館と社会連携4 学校教育・地域社会との連携（鹿納） 第13回：恐竜博物館の経営と課題1：博物館の長期経営計画と課題（鹿納） 第14回：恐竜博物館の経営と課題2：現場から見た博物館経営と課題（一島：恐竜博物館副館長） 第15回：博物館経営の課題とまとめ（鹿納）				
キーワード	博物館、ミュージアムマネージメント、経営基盤、社会連携、恐竜博物館				
教科書	資料を配布する。				
参考書	新時代の博物館学（全国大学博物館学講座協議会西日本支部編、芙蓉書房出版、2012年） 改訂新版 博物館経営論（佐々木亨・今村信隆編、放送大学教育振興会、2023年）				
評価方法・評価基準	課題の提出（30%）と学期末試験（70%）で評価する。				
履修要件	特になし。				
必要な事前・事後学修	事前学修：資料や参考書を用いて授業範囲の予習を行うこと。 事後学修：授業の内容を復習し、課題を期限内に提出すること。				
その他	学芸員養成課程の必修単位で学芸員資格を希望する学生は受講すること。				